

令和 3 年度

主 な 事 務 事 業 調

令和3年度 主な事務事業調

No. 1

事業名	シティブランディング戦略事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費
事業費	5,030 千円			予算書	108 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的

令和2年度に設立した「シティブランディングプロジェクト」で実施した市民アンケート調査のデータを基に市民のシビックプライドの向上を実現するため決定したコンセプト及びロゴマークを活用した発信や、地域活性化につながる活動をプロジェクトメンバーと共に推進する。
また「ITを活用した心が通う便利で豊かな田舎暮らし」の実現に向けた「舞鶴市SDGs未来都市」の取組や市政情報の効果的な発信に努め「住民到達度100%の広報」を目指すとともに、小・中学生への啓発を引き続き行い、取組の裾野を広げる。

事業の内容

【シティブランディングプロジェクト】

アンケートを活用した効果的な情報発信とプロジェクトメンバーによる発信
プロジェクト会議で、まちの活性化につながる活動を実施、ネットワークの拡大
ブランディング計画に沿った舞鶴市のプロモーション

【SDGsの内容と、舞鶴市SDGs未来都市としての取組の戦略的広報】
小・中学校への出前授業
SDGs理解促進のための啓発イベント 等

財源内訳

区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
国 支 出 金	1,320	地方創生推進交付金 (1/2)	64
府 支 出 金	-		
地 方 債	-		
そ の 他	1,200	ふるさと応援寄附金	90
一 般 財 源	2,510		

担当課

広報広聴

課

課長名

三輪 紀子

内線番号

1316

令和3年度 主な事務事業調

No. 2

事業名	行財政改革推進経費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費
事業費	1,000 千円			予算書	108 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	行政サービスや市役所運営が将来に渡って持続可能であり続けるための行財政改革を推進する。 その一環として、外部人材の助言を得ながら、ICTやデータ利活用を通じた事務処理の効率化や市民サービスの利便性向上策を検討・試行する。
事業の内容	○事務処理の効率化 データ利活用による事務の効率化や政策立案を推進するため、データ分析ツールの試行導入とデータ利活用スキルの向上に取り組む。 ○市民サービスの利便性向上 ICTを活用した窓口・相談業務の効率化や利便性向上に効果が期待できるツールの試行導入を検討するなど、調査研究を行う。

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	500	地方創生推進交付金(1/2)	64
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	500		

担当課	改革推進 情報システム	課	課長名	仲川 真広 吉崎 豊	内線 番号	1390 2610
-----	----------------	---	-----	---------------	----------	--------------

令和3年度 主な事務事業調

No. 3

事業名	地元再発見「ふるさと舞鶴」地域学推進事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 地域づくり推進費
事業費	2,100 千円			予算書	110 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	本市が誇る歴史文化をまちの「タカラモノ」として市民に知ってもらうため、令和2年度に整備した地図アプリ（デジタル地図システム）を活用し、公民館講座やまちあるきイベント等を実施することで、地元の知られざる魅力への気づきや、新たな地域資源の掘り起こしを行い、多くの市民が地元を知り、まちへの誇りと愛着心を持った魅力あるまちづくりを目指す。
事業の内容	(1) 地域学セミナーの実施 ・歴史、自然、風俗、まちあるき等テーマごとに講義を構成。 ・テーマごとに、各公民館等が連携して実施 (2) 地図アプリの活用 ・「舞鶴鎮守府エリア」と「田辺城城下町エリア」の多層化古地図を公民館講座やまちあるき等に活用 ・市民等からの情報投稿による地図情報アップデートを実施

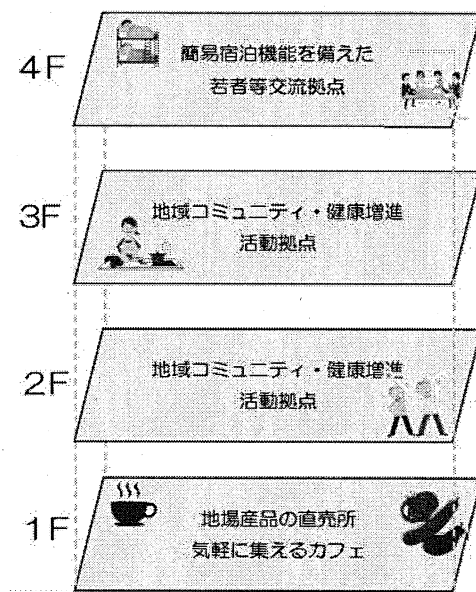
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	500	きょうと地域連携交付金(1/2)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	1,600		
担当課	広報文化振興課	聴援館	課長名	三輪 紀子 飯田 徹 左織 美紀恵 小畑 真奈美 山下 美晴
			内線番号	1316 1225 1230 1261 1260

令和3年度 主な事務事業調

No. 4

事業名	<概要版>多世代交流施設「まなびあむ」				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 地域づくり推進費
事業費	38,450 千円			予算書	110・112 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	旧市民病院西棟をリニューアルし、多世代交流施設「まなびあむ」として令和3年夏に開設。 幅広い世代が集い交わることで次世代の地域の担い手づくりを推進するとともに、1Fの地場産品の直売所やカフェ、4Fの若者等交流拠点施設など民間活力を導入しながら、市民の健康増進と多様な交流・賑わいの拠点となることを目指す。			
事業の内容	1. まなびあむスタートアップ事業費 12,000千円 (No.6) 2. 地域資源を活かした多世代交流促進事業費 11,000千円 (No.5) 3. まなびあむ管理運営経費 (2,3F) 15,450千円 ・市民の健康づくり、社会参加事業 ・「高齢者の外出・集い・交流の機会増進事業」により使用料負担を軽減			
内容	(関連事業) 【農林水産業費】食の京都TABLE整備支援事業費補助金 (No.80)			



財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	3,000	地方創生推進交付金(1/2)	64
	府支出金	2,500	きょうと地域連携交付金(1/2)	74
	地方債	5,300	総務債	104
	その他	8,584	多世代交流施設使用料等	56・86・102
	一般財源	19,066		
担当課	企画政策 地域づくり支援 課		課長名	山本 仁士 飯田 徹
			内線	1330
			番号	1225

令和3年度 主な事務事業調

No. 5

事業名	地域資源を活かした多世代交流促進事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 地域づくり推進費
事業費	11,000 千円			予算書	110 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	令和3年夏から供用開始予定の旧市民病院西棟に整備する若者等交流拠点と多世代交流施設「まなびあむ」を中心に、市内外の多様な連携や交流促進を図る事業を展開し、賑わいと交流を創出する。			
事業の内容	○交流促進事業委託 6,000千円 若者等交流拠点施設と「まなびあむ」を核に実施する交流促進事業の委託（若者等交流拠点運営事業者に委託） ○交流促進事業費補助金 5,000千円 交流促進事業の実施に必要となる設備等の整備・購入に対する補助金			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	3,000	地方創生推進交付金(1/2)	64
	府支出金	2,500	きょうと地域連携交付金(1/2)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	5,500		
担当課		企画政策	課	課長名 山本 仁士
				内線番号 1330

令和3年度 主な事務事業調

No. 6

事業名	まなびあむスタートアップ事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 地域づくり推進費
事業費	12,000 千円			予算書	110 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	幅広い世代が集い交わることで次世代の地域の担い手が育まれ、市民の健康増進の場となる多世代交流施設「まなびあむ」を開設する。 開設時のオープニングイベントを行うとともに、ICTを活用した公民館との連携事業、現役世代が地域と関わるきっかけ作りとなる事業等、多世代交流のモデル事業に取り組む。
事業の内容	- オープニングイベント ・式典、記念講演 等 - ICT環境を活用した多世代交流事業 ・リモートによる各公民館との連携事業を図るためのインターネット環境整備 ・受講者が自宅から事業に参加できる環境づくり 等 - 幅広い世代の交流促進事業 ・若者等交流拠点施設とまなびあむを核に市内外の多様な連携や交流促進を実施 ・現役世代が地域と関わるきっかけ作りとなる事業の実施 ・平日18時以降の参加しやすい時間帯に実施 ・講座形式ではなく座談会形式で実施 ・貸室やロビーの環境整備（備品購入等）

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	5,300	総務債	104
	その他	-		
	一般財源	6,700		

担当課	地域づくり支援 課	課長名	飯田 徹	内線番号	1225
-----	-----------	-----	------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 7

事業名	地域コミュニティの支援				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 地域づくり推進費
事業費	30,830 千円			予算書	110 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	少子高齢化や個人のライフスタイルの多様化などにより、地域コミュニティの中心である自治会は、会員減少や自治会運営の担い手不足といった課題を抱えている。 このような状況の中、地域住民の連帯感を育成し、住みよい地域社会の実現に向け、その基盤となる自治会や自治連合会の活性化に向けた様々な取り組みを支援する。			
事業の内容	1. 元気なまちづくり事業費・・・・・・・・・・600千円 対象：地域活性化を図る特色ある新たな取組、又は既存事業を充実・発展させる取組 補助率：2／3、補助上限額：500千円 2. 地域集会所建設等事業費補助金・・・・・・・・6,030千円 対象：地域集会所の修繕等に対する補助 補助率：1／3 補助上限額：新築・購入 7,000千円 増改築・修繕 5,000千円 3. 自治会振興交付金・・・・・・・・・・23,840千円 補助額：800円／世帯 4. 舞鶴自治連区長連協議会活動費補助金・・・・・・・・360千円			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	3,300	きょうと地域連携交付金(1/2)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	27,530		
担当課 地域づくり支援 課		課長名	飯田 徹	内線番号 1225

令和3年度 主な事務事業調

No. 8

事業名	文化のまちづくり推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費
事業費	4,293 千円			予算書	112 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	舞鶴市文化振興基本計画に基づき、市民がアートや音楽など文化芸術に触れる機会を創出し、文化を楽しみ創造できるまちづくりに取り組むとともに、子どもを中心とした次世代へ向けてふるさとへの誇りや愛着を醸成し、心豊かに暮らせるまちづくりを推進する。				
事業の内容	○舞鶴市展2021 赤れんが公募美術展の開催 市民文化の向上を図るため、洋画・日本画・書・写真・工芸の5部門の公募による展示会を赤れんがパークで実施する。 ○アートスタート事業 乳幼児とその保護者を対象に、陶芸体験や作品を使った食育のワークショップ、箏体験など、子どもが初めてアートに触れる機会を創出する。 ○市の収蔵品を活かしたアート展の開催 海辺の京都浮世絵コレクションや版画など、市が所蔵する芸術作品の展示や関連するワークショップを行う。 ○文化の見本市事業 市内で文化活動を行う文化団体がそれぞれの活動の内容を紹介するとともに、実際に体験できるワークショップを行い、文化の裾野を広げる。				

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	600	きょうと地域連携交付金(1/2)	74
	地方債	-		
	その他	340	雑入(市展審査料)	102
	一般財源	3,353		

担当課	文化振興	課	課長名	左織 美紀恵	内線番号	1230
-----	------	---	-----	--------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 9

事業名	大型記念オブジェ「始まりの時」ネクストステージ事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 文化振興費
事業費	1,000 千円			予算書	112 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業目的	市役所玄関前に設置している卵型の大型記念オブジェ「始まりの時」は、平成23年に京都府内全域において開催された「国民文化祭・京都」における舞鶴市での取組として、市民芸術グループ「アノ・ソノ・アート」が中心となり、当時、市内小学4年生等児童が作った陶板約1,100枚を貼り付けるなどして制作したもの。 この制作に携わった児童たちが令和4年1月に成人式を迎えることから、これを節目として、「卵が孵化し、人生の次のステージに羽ばたく」をコンセプトとした取組を実施する。			
	○成人式において、大型記念オブジェ「始まりの時」の制作過程を動画等で紹介するなど、「卵が孵化する」ためのセレモニーの企画・実施 ○大型記念オブジェ「始まりの時」の解体			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	500	きょうと地域連携交付金(1/2)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	500		
担当課		文化振興課	課長名	左織 美紀恵
			内線番号	1230

令和3年度 主な事務事業調

No. 10

事業名	文化施設管理運営経費 (総合文化会館管理運営経費及び陶芸館管理運営経費)					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費
事業費	107,295 千円			予算書	112 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	令和3年4月から総合文化会館及び陶芸館の管理運営を指定管理者制度から市直営へと切り替え、文化施策と施設運営のダイレクトな連動を可能にする。これにより赤れんがパークなどとの連携の中で、総合文化会館を文化の拠点施設として機能強化し、魅力アップを図るとともに、市民と一体となって本市の文化のレベル向上に取り組む「文化創造都市」の実現を目指す。				
事業内容	【総合文化会館管理運営経費】 91,089千円 ○上質な舞台芸術等の鑑賞機会の提供 ・劇団四季公演、宝くじまちの音楽会、サイエンスショー、伝統舞踏公演など ○文化の拠点施設として市民が文化を楽しむための環境づくり ・文化情報の集約と発信、文化団体との連携強化、子どもの文化芸術事業の実施、赤れんがパークから観光客を誘導するしくみづくり 【陶芸館管理運営経費】 16,206千円 ○陶芸館の周知と利用拡大の取組 ・陶芸体験、陶芸教室や講座の実施 ・赤れんがパークや総合文化会館などでの出張陶芸体験の実施 ・総合文化会館での陶芸館PRなど				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	1,300	地域における舞台芸術振興・次世代体験推進事業補助金(1/2)		74
	地方債	-			
	その他	46,822	総合文化会館使用料、陶芸館使用料、雑入(入場料等)		56・102
	一般財源	59,173			
担当課	文化振興	課	課長名	左織 美紀恵	内線番号 1230

令和3年度 主な事務事業調

No. 11

事業名	引揚記念館整備事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	歴史資産を活かしたまちづくり推進費
事業費	15,000 千円			予算書	112 頁	
				事業区分	(新規)・拡大・継続	

事業の目的	快適に利用できる施設としての環境改善と設備の長寿命化を図るため、経年劣化が著しい引揚記念館と引揚記念公園に送水している給水ポンプ施設の改修（移設）を行う。
事業の内容	○給水ポンプ施設（受水槽含む）の改修（移設） ※給水ポンプ（昭和63年3月設置） 記念館内のトイレや飲食施設、記念公園内のトイレに送水している設備

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	15,000		

担当課	舞鶴引揚記念館	課長名	山下 美晴	外線番号	68-0836
-----	---------	-----	-------	------	---------

事業名	引揚の史実継承事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 歴史資産を活かしたまちづくり推進費
事業費	5,211 千円			予算書	112 頁
				事業区分	新規・拡大 継続

事業の目的	若い世代への継承として教育旅行誘致に積極的に取り組むとともに、中高生語り部の活躍の場を創出することにより、「次世代への継承」から一歩進んだ「次世代による継承」を推進する。 また、世界記憶遺産登録資料収蔵施設にふさわしい資料の集積、研究、保存、活用を推進するための調査やアーカイブ化の推進、ホームページなどの充実を図り、平和の尊さを広く発信していく。			
事業の内容	【次世代への継承】 ○平和学習、教育旅行の誘致 ○平和学習プログラムの研究、開発 ○収蔵資料のアーカイブ化の推進 ○収蔵資料の調査 ○小学生講座の開催(夏休み等) 【次世代による継承】 ○中高生語り部をはじめとする若い世代の活躍の場の創出(同世代との交流の推進、継承事業の企画等)			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	1,931	地方創生推進交付金(1/2)	64
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	3,280	ふるさと応援寄附金	90
	一般財源	-		
担当課		舞鶴引揚記念館	課長名	山下 美晴
			外線番号	68-0836

事業名	世界記憶遺産国際ブランド推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	歴史資産を活かしたまちづくり推進費
事業費	3,700 千円			予算書	114 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的

ユネスコ世界記憶遺産登録資料等を活用し、グローバルな視点で国際平和を願う歴史文化の交流・発信の拠点として、国内外の博物館関係者等との交流、連携の強化を図る。
また、国内外の教育機関とも協働し、中・高生語り部の活動機会の創出をはじめ「次世代による継承」を推進するとともに、引揚港の歴史を有する全国の都市との協力を得て引き揚げの歴史文化を掘り起こし、国内外への発信を行うことで、舞鶴市及び舞鶴引揚記念館の国際ブランド力の強化に繋げる。

事業の内容

【国内外への情報発信】

○引揚関係都市との連携による企画展とプロモーションの実施
○引揚体験者証言アーカイブ動画の作成

【国内外の教育機関や博物館との連携による学び・交流の推進】

○大学等の教育機関と連携した講演会やワークショップの開催
○オンラインを活用した次世代による国際的な交流の場の創出

財源内訳

区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
国 支 出 金	-		
府 支 出 金	1,800	きょうと地域連携交付金 (1/2)	74
地 方 債	-		
そ の 他	-		
一 般 財 源	1,900		

担当課

舞鶴引揚記念館

課長名

山下 美晴

外線番号

68-0836

令和3年度 主な事務事業調

No. 14

事業名	世界記憶遺産資料保存活用事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	歴史資産を活かしたまちづくり推進費
事業費	2,041 千円			予算書	114	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	ユネスコ世界記憶遺産登録資料をはじめとする所蔵資料を後世に 永く引き継いでいくため、白樺日誌や絵画資料などの状態や館内の 保存・展示環境の調査を実施するなど、世界的に重要な資料の保存 と活用の両立を目指す。				
事業の内容	○白樺日誌・絵画資料等の状態調査の実施 ○保存・展示環境の調査の実施 ○「舞鶴引揚記念館収蔵資料保存活用計画」の改定				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	2,041	ふるさと応援基金繰入金		92
	一般財源	-			
担当課 舞鶴引揚記念館			課長名 山下 美晴	外線番号 68-0836	

事業名	舞鶴引揚げの日発信事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	歴史資産を活かしたまちづくり推進費
事業費	580 千円			予算書	114 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	世界の恒久平和を切願する引き揚げのまちの歴史を後世に継承するため、引揚げ第1船入港日を「舞鶴引き揚げの日」とする条例の制定を契機として、令和元年度に発足した『協働で目指す「3年間で市民認知度100%」プロジェクト』が最終年度を迎えるにあたり、引き揚げの日を中心に次世代を担う子ども達への史実の継承やふるさと舞鶴への愛着心の醸成と平和意識の高揚に向けて、認知度100%を目指しさらなる取り組みを推進する。 舞鶴引き揚げの日：10月7日				
事業の内容	『協働で目指す「3年間で市民認知度100%」プロジェクト』の推進 ○「舞鶴引き揚げの日」の情報発信 ・「舞鶴引き揚げの日」に係る特別展示 ・ロゴマークを活用したポスター等広報物の作成 ・協力団体、事業所の募集 ○学校との連携による情報発信 ・小、中学校での「舞鶴引き揚げの日・給食（引揚げ援護局レシピ）」の提供 ・全中学校代表生徒の平和祈念式典への参加				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	200	きょうと地域連携交付金（1/2）		74
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	380			
担当課	舞鶴引揚げ記念館		課長名	山下 美晴	外線番号 68-0836

令和3年度 主な事務事業調

No. 16

事業名	日本遺産プロモーション事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 歴史資産を活かしたまちづくり推進費
事業費	8,691 千円			予算書	114 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴 ～日本近代化の躍動を体感できるまち～」として認定された日本遺産ブランドを活かし、市民にまちの魅力の再認識を促すとともに、舞鶴鎮守府開庁120年の節目にあわせ、ビヨンド・コロナ時代に対応した観光プロモーションに取り組み、交流人口の増加と観光消費の拡大に努める。			
事業の内容	旧軍港市日本遺産活用推進協議会と連携し、舞鶴鎮守府開庁120年の節目にあわせて観光プロモーションを展開する。 ○「日本遺産WEEK」の開催 日頃非公開の日本遺産構成文化財を特別に公開（10月） ○海軍食キャンペーンの実施 海軍の食文化やスイーツをテーマにPRイベントを開催 GW 海軍食まつり 夏休み 海軍ラムネまつり 秋 海軍スイーツまつり ○海軍グルメ商品化の促進 海軍の食文化をテーマに市内事業者の商品開発を促す。			
財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国 支 出 金	4,100	地方創生推進交付金（1/2）	64
	府 支 出 金	-		
	地 方 債	-		
	そ の 他	-		
	一 般 財 源	4,591		
担当課 観光振興 課		課長名 小畑 真奈美	内線番号 1261	

令和3年度 主な事務事業調

No. 17

事業名	海軍ゆかりのあゆみ120年事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	歴史資産を活かしたまちづくり推進費
事業費	1,580 千円			予算書	114 頁	
				事業区分	(新規)・拡大・継続	

事業の目的	舞鶴鎮守府開庁（明治34年（1901年））から、120年の大きな節目を迎えるにあたり、舞鶴市が歩んできた歴史や特有の文化を広く伝え、次世代へとまちの歴史・文化等を継承するとともに、海軍ゆかりのまち・舞鶴を広く発信することにより、舞鶴市の魅力を市内外に伝える機会を創出する。			
事業の内容	舞鶴商工会議所等と連携し、地域一体となって取り組む事業を実施。 （特別事業） ・ 東郷平八郎ゆかりの銀杏植樹 ・ （仮称）海軍ゆかりの日本遺産シンポジウム等の開催 ・ 赤れんがパーク等における記念展示 ・ 近代化遺産等の特別公開 ・ 海軍ゆかりのグルメイベント 等 （記念事業） ・ みなと舞鶴ちゃったまつり「舞鶴鎮守府開庁120年記念事業」 ・ 舞鶴鎮守府開庁120年記念「舞鶴赤れんがハーフマラソン」 ・ 日本遺産WEEK「舞鶴鎮守府開庁120年記念事業」			
財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称（ 補 助 率 等 ）	予算書
	国 支 出 金	282	地方創生推進交付金（1/2）	64
	府 支 出 金	500	きょうと地域連携交付金（1/2）	74
	地 方 債	-		
	そ の 他	-		
	一 般 財 源	798		
担当課	企画政策 文化振興	課	課長名 山本 仁士 左織 美紀恵	内線 1330 番号 1230

令和3年度 主な事務事業調

No. 18

事業名	地方創生拠点整備事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	613,770 千円			予算書	114 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	観光戦略拠点「赤れんがパーク」を核として、隣接する海上自衛隊施設との連携を図りながら、周辺一帯を日本海側を代表する一大交流拠点とするため、防衛省の「まちづくり支援事業（補助率7.5／10）」を最大限に活用し、民間活力等を取り入れた整備・開発を推し進める。			
事業の内容	【令和3年度事業内容】 ○赤れんがパーク周辺整備 ・赤れんが博物館前広場等整備 ・海側遊歩道等用地取得、建物移転補償 ・文庫山法面等調査設計 ○民間活力導入に向けた公募実施			
財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称（ 補 助 率 等 ）	予算書
	国 支 出 金	416,602	防衛施設周辺民生安定施設整備事業費補助金（7.5/10）	64
	府 支 出 金	-		
	地 方 債	193,500	総務債	104
	そ の 他	3,000	都市開発推進基金繰入金	92
	一 般 財 源	668		
担当課 企画政策 課		課長名 山本 仁士	内線番号 1330	

令和3年度 主な事務事業調

No. 19

事業名	舞鶴市SDGs未来都市推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	38,433 千円			予算書	114 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	教育機関や企業など、市内外の多様な主体との連携を密にする中で、先進技術の導入による地域交通の利便性向上や防災機能の強化、新たなビジネス機会の創出、市内企業が求める人材育成等に取り組み、SDGs未来都市として目指す持続可能で「ITを活用した心が通う便利な田舎暮らし」の実現に向け、計画段階から実装段階へと移行して事業を推し進める。				
事業の内容	1. 共助による移動手段（meemo）導入に向けたMaaS推進事業費 (No.20)				
	2. リカレント教育調査事業費 (No.21)				
	3. 赤れんがコワーケーション推進事業費 (No.22)				
	4. 産官学連携によるICTを活用した防災・減災システム導入事業費 (No.23)				
	5. AI・ロボティックス業務効率化推進事業費 (No.24)				
財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称（ 補 助 率 等 ）		予算書
	国 支 出 金	18,831	地方創生推進交付金（1/2）		64
	府 支 出 金	-			
	地 方 債	-			
	そ の 他	-			
	一 般 財 源	19,602			
担当課		課	課長名	内線番号	

令和3年度 主な事務事業調

No. 20

事業名	共助による移動手段（meemo）導入に向けたM a a S推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	2,400 千円			予算書	114 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	共助の仕組みによる新たな移動手段（meemo）の導入を目指し、令和2年度に実施した実証実験の検証結果を踏まえ、今後の新たな交通手段のあり方を検証する。				
事業の内容	交通事業者の協力を得ながら、地域住民との協働により、地域の実情に応じた取組を推進する。 【高野地区】 ・スマホアプリを活用した住民同士の移動マッチングシステムの導入による移動量増加、利便性向上等の効果検証 ・移動マッチングシステム及び運用体制の構築 【加佐地区】 ・マッチングシステムの確立に向けたニーズの把握、仕組みの構築検討				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）		予算書
	国支出金	960	地方創生推進交付金（1/2）		64
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	1,440			
担当課 企画政策 課			課長名 山本 仁士		内線番号 1330

令和3年度 主な事務事業調

No. 21

事業名	リカレント教育調査事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	500 千円			予算書	114 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	向学心のある市民が職業上の新しい知識を習得する「リカレント教育（働くことを前提とした学び直し）」を受けることができる環境を構築することにより、市民の能力開発を支援すると同時に市内企業が求める人材育成を図り、持続可能な社会の構築を目指すことができるよう、市内企業において必要とされる人材等について調査を行う。				
事業の内容	本市のものづくり産業をはじめとする各業界において必要とされる人材に求められる資格や知識等の習得と、その後の就職支援に関する施策について調査を行う。				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）		予算書
	国支出金	250	地方創生推進交付金（1/2）		64
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	250			
担当課 産業創造・雇用促進 課			課長名	松岡 幸治	内線番号 1212

令和3年度 主な事務事業調

No. 22

事業名	赤れんがコワーケーション推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	18,000 千円			予算書	114 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	コロナ禍の影響で都市部の企業で働く場所を自由に選択できる仕組みやテレワークなどが推進されるなか、赤れんがコワーキングを新たなビジネス交流やワーケーション事業の拠点とするために、都市部企業を対象としたモニターツアーの実施や市内事業所との交流を促すセミナー、ワークショップを定期的に開催する。 また、市内・外の教育機関等と連携した子どもを対象としたワークショップを継続的に開催し、若者がチャレンジできる環境を整えるための拠点として活用する。
事業の内容	○都市部（関西圏・首都圏）企業の誘致（テレワーク・ワーケーション・モニターツアー） ○専属スタッフの配置（コワーキング管理運営・広報活動） ○SDGs普及促進にむけたリーダーシッププログラムの実践 ○子ども向けワークショップの開催（プログラミング、電気工作等） ○地方で働きたい全国の若者と市内事業所等との雇用マッチング ○学生のゼミ合宿誘致、学生交流イベントの実施

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	9,000	地方創生推進交付金(1/2)	64
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	9,000		

担当課	移住・定住促進課	課長名	小西 征良	内線番号	1326
-----	----------	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 23

事業名	産官学連携によるICTを活用した防災・減災システム導入事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	12,000 千円			予算書	114 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	近年、気候変動等により浸水被害等が常態化していることを受け、オムロンソーシアルソリューションズ(株)やKDDI(株)、舞鶴工業高等専門学校と連携し、リアルタイムでの浸水映像や水位情報の把握、内閣府が開発している市町村災害対応統合システムの浸水予測データの活用に取り組み、市民への防災情報等の見える化を目指したシステム構築を促進するもの。				
事業の内容	○トレイルカメラによる画像データ活用 ・任意の場所に設置・移設が可能なトレイルカメラを5台導入し、浸水が想定される箇所の水位情報をリアルタイムで画像データとして収集し、防災情報ポータルサイトで発信する際に活用する。 ○防災情報ポータルサイト整備 ・内閣府が開発中の浸水予測データとの連携も見据え、上記の画像データや、位置情報の活用などにより、市民の方々に分かりやすい形で最適な防災情報を発信するためのポータルサイトを産官学が連携して構築する。 (運用開始予定：令和5年頃)				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	5,855	地方創生推進交付金(1/2)		64
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	6,145			
担当課	下水道整備 企画政策		課長名	東山 直 (浸水対策担当) 山本 仁士	内線 番号 2231 1330

令和3年度 主な事務事業調

No. 24

事業名	A I ・ロボティックス業務効率化推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	5,533 千円			予算書	114 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	先進技術を活用した行財政改革の一環として、令和元年度より実証・実装を開始した「A I－OCR、R P A」の適用範囲をさらに拡大し、業務プロセスの見直しと作業の自動化を進めることで、業務の効率化を加速させる。
事業の内容	【令和2年度A I－OCR、R P A適用事務】 ○市府民税申告書入力事務 ○給与取得者異動届入力事務 ○放課後児童健全育成事業利用申請入力事務 ○就学援助費受給申請書入力事務 ○舞鶴市育成資金交付申請書入力事務 ○遠距離通学請求書入力事務 ○特別定額給付金申請書入力事務（令和2年度）

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	2,766	地方創生推進交付金（1/2）	64
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	2,767		

担当課	情報システム 課	課長名	吉崎 豊	内線番号	2610
-----	----------	-----	------	------	------

事業名	<概要版>移住定住の推進の取組		
費目	款	総務費、民生費、労働費、農林水産業費、土木費	
事業費	52,551 千円	予算書	— 頁
		事業区分	新規・拡大・継続

事業目的	本市への移住定住の促進を図り、「ITを活用した心が通う便利で豊かな田舎暮らしができるまちづくり」を推進する。		
事業内容	○情報発信（舞鶴を『知ってもらおう』） ・移住定住の流れをさらに飛躍させるため、移住定住ガイドブック、ポータルサイトによる情報発信機能等の充実、京都府北部連携都市圏における移住促進事業の推進（主な事業） 【総務費】 まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業費 7,816 千円 (No.26)		
	○サポート体制の充実（舞鶴を『選んでもらおう』） ・移住相談窓口、就職支援、人と人との連携のサポート等 ・新卒者の市内企業への就職を促進（主な事業） 【総務費】 地域おこし協力隊活動事業費 5,900 千円 (No.30) 【労働費】 地元就職・転職支援事業費 1,460 千円 (No.74)		
	○補助制度等（舞鶴に『住んでもらおう』） ・市が指定する居住誘導区域内で空き家情報バンク制度を通じて空き家を購入もしくは貸借する者が実施する空き家住宅の改修費用に対し、その費用の一部を助成 ・府が指定する移住促進特別区域内で空き家情報バンク制度を通じて空き家に入居する者が負担する改修費、提供する者が負担する準備経費、受入地域に係る支援経費に対する補助等 ・空き家を市が賃貸借しリフォームする「居住促進（お試し）住宅」の設置や東京圏から舞鶴市へ移住し就業する者に対する支援（主な事業） 【土木費】 まちなかエリア定住促進事業補助金 900 千円 (No.114) 【農林水産業費】 農村移住・交流促進事業費 14,674 千円 (No.76) 【農林水産業費】 漁村移住者受入促進事業費補助金 1,935 千円 (No.90) 【総務費】 まちなか暮らし推進事業費 6,366 千円 (No.28) 【総務費】 わくわく地方生活実現政策パッケージ移住支援事業費補助金 1,600 千円 (No.29) （移住希望者も利用可能な補助制度） 【民生費】 子育て世帯住宅リフォーム等支援事業費 10,900 千円 (No.58)		
	○フォローアップ（舞鶴の『良さを広げてもらう』） ・移住者同士のネットワークを構築しそれを活用したイベント「（仮称）移住者マルシェ」によるワークショップや移住相談会、移住者交流会等を開催 【総務費】 新たな交流創造事業費 1,000 千円 (No.31)		
担当課	移住・定住促進 企画政策 子ども支援 産業創造・雇用促進 農林 水産 都市計画	課長名	小西 征良 山本 仁士 新井 秀和 松岡 幸治 坂根 久喜 中井 哲也 吉田 章洋
		内線番号	1326 1330 2150 1212 1240 1210 2320

令和3年度 主な事務事業調

No. 26

事業名	まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	7,816 千円			予算書	114 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	舞鶴版地方創生の推進を図るため、京都府北部地域（5市2町）との強固な連携による施策の深化を図るとともに、圏域の公共交通の活性化を目指した取組や移住定住の流れを飛躍させる取組を展開する。
事業の内容	<京都府北部地域連携都市圏の形成推進> 第2期連携都市圏ビジョンをスタートさせ、府北部5市2町が持つ個性と特徴、豊かな地域資源をもとに、相互のさらなる連携と役割分担により、移住促進事業や合同企業説明会、農商ビジネス商談会など、圏域全体の活性化に資する施策を積極的に推進し、水平連携の深化を図る。 <公共交通活性化に係る取り組み> 圏域の人口減少や交通事業者の担い手不足等により、公共交通の維持・確保が困難になる中、府北部5市2町が連携し、地域交通のあり方や具体的な施策、目標等を盛り込んだ「地域公共交通計画」を策定し、持続可能な地域交通の実現を目指す。 <移住定住施策に係る取り組み> ・舞鶴市移住定住推進協議会等のプラットフォーム機能の充実 ・移住定住に係る情報発信機能の充実（移住ガイドブック、ポータルサイト） ・東京や大阪、京都等で開催される移住フェアでの積極的なPR

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	1,559	地方創生推進交付金(1/2)	64
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	1,108	雑入(京都府北部地域連携都市圏公共交通活性化協議会負担金)	102
	一般財源	5,149		

担当課	企画政策 移住・定住促進	課	課長名	山本 仁士 小西 征良	内線 番号	1330 1326
-----	-----------------	---	-----	----------------	----------	--------------

令和3年度 主な事務事業調

No. 27

事業名	整備新幹線誘致推進費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	207 千円			予算書	114 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	日本海側国土軸の形成による国土強靱化、日本海側地域全体の発展に向け、整備新幹線の京都府北部ルート誘致を目指す。
事業の内容	整備新幹線の京都府北部ルート誘致に向け、京都府内をはじめ、山陰地方の自治体、経済団体、同盟会等の団体などと連携した要望活動及び啓発活動等を展開する。

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	207		

担当課	企画政策	課	課長名	山本 仁士	内線番号	1330
-----	------	---	-----	-------	------	------

事業名	まちなか暮らし推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	6,366 千円			予算書	114 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	市外在住の子育て世代をターゲットに舞鶴における新たなライフスタイルを提供し、駅や病院、スーパーなどに近い好立地のまちなかへの定住を促進するため、空き家を利活用し、住民や自治会、舞鶴高専、不動産業者、金融機関等と地域コミュニティを構築して、地域と連携した有効なまちなかの空き家活用を推進する。
-------	--

事業の内容	舞鶴高専及び自治会長をはじめ、宅建協会等と連携し、空き家を市が直接賃貸借し、リフォームして「居住促進（お試し）住宅」を開設する。 【制度の概要事例】
-------	--

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	2,605	地方創生推進交付金(1/2)	64
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	1,884	雑入(家賃収入)	102
	一般財源	1,877		

担当課	移住・定住促進 課	課長名	小西 征良	内線番号	1326
-----	-----------	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 29

事業名	わくわく地方生活実現政策パッケージ移住支援事業費補助金					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	1,600 千円			予算書	114 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	東京圏への過度な一極集中の是正及び地域の中小企業等における人材不足の解消を目的として、東京圏から舞鶴市へ移住し就業する者に対して支援を行う。				
事業の内容	【対象者】 東京圏から舞鶴市へ移住・転入後3ヶ月以上1年以内でかつ就業後3ヶ月以上の者 ※東京圏…東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県				
	【補助額】 ◆単身で移住 60万円 ◆世帯で移住 100万円 (負担内訳：国1/2・府1/4・市1/4) 【募集件数】 ◆単身で移住 1件 ◆世帯で移住 1件				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	800	地方創生推進交付金(1/2)		64
	府支出金	400	移住支援事業補助金(1/4)		74
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	400			
担当課 移住・定住促進 課			課長名	小西 征良	内線番号 1326

令和3年度 主な事務事業調

No. 30

事業名	地域おこし協力隊活動事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	5,900 千円			予算書	114 頁	
				事業区分	(新規)・拡大・継続	

事業の目的	コロナ禍の影響で今後地方への移住促進が予想される中、新たに全国の優秀な人材から「地域おこし協力隊」を採用し、地元企業のニーズと地方で働きたい全国の若者等との雇用マッチングや移住後のキャリア形成をはじめ、本市の魅力発信等の活動を行い、更なる関係人口の創出及び地方移住を加速させるもの。				
事業の内容	○地域おこし協力隊の活動 ・地元企業と地方で働きたい若者の雇用マッチングとキャリア形成 ・全国版移住ポータルサイト「SMOUT」を活用した広報活動 ・任期：3年（最大） ※本事業に対する経費は特別交付税措置の対象 <pre> graph LR 国[国] -- 特別交付税 --> 市[市] 市 -- 負担金(活動経費) --> 受入団体[受入団体] 受入団体 -- 活動経費(事務用品等) --> 市 市 -- 活動実績等報告 --> 国 市 -- 出納簿・月報 --> 受入団体 受入団体 -- 報酬 --> 隊員[隊員] 受入団体 -- 週報 --> 隊員 </pre>				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	5,900			
担当課 移住・定住促進 課			課長名	小西 征良	内線番号 1326

令和3年度 主な事務事業調

No. 31

事業名	新たな交流創造事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	1,000 千円			予算書	114 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	舞鶴への移住を促すため、まずは舞鶴を知ってもらう、次に舞鶴を選んでもらう、そして舞鶴に住んでももらう、さらには移住された方に舞鶴の良さを広げてもらうという4ステップで施策を進めている中、近年、好調である移住者の実績を更に延ばしていくために、舞鶴へ移住してこられた様々な職種や特技を持った方々に舞鶴の良さを広げてもらうため、移住者のネットワークを構築し、それを最大限に活用した様々なイベント等を実施する。				
	・ 移住サポーター制度の活用 令和2年度から移住サポーター制度を設け、実際に舞鶴に移住された方の中からサポーターを任命し、市施策に対する助言や協力をいただくとともに、移住希望者及び移住者への情報発信や相談対応、相互の交流促進等の活動を担っていただいている。 ・ (仮称) 移住者マルシェの開催 移住者による出店、ワークショップ、座学、移住相談など ・ 移住者交流会の開催 移住サポーターを中心に、移住希望者及び移住者同士の交流促進の場を提供				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	1,000			
担当課 移住・定住促進 課			課長名	小西 征良	内線番号 1326

令和3年度 主な事務事業調

No. 32

事業名	ふるさと応援推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	25,018 千円			予算書	114 頁	
				事業区分	新規・拡大(継続)	

事業の目的	ふるさと納税制度を通じ、本市のまちづくりや魅力に関心を寄せていただく方々の数を増やすとともに、「ITを活用した心を通う便利で豊かな田舎暮らし」ができるまちづくりを推進する。
事業の内容	ふるさと納税に係る地域商社と連携し、特産品等の魅力ある返礼品群を充実させるとともに、ポータルサイト等を活用した情報発信の強化を図り、ふるさと納税の利用をさらに拡大し、「ITを活用した心を通う便利で豊かな田舎暮らし」ができるまちづくりを推進する。

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	25,000	ふるさと応援寄附金	90
	一般財源	18		

担当課	企画政策	課	課長名	山本 仁士	内線番号	1330
-----	------	---	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 33

事業名	男女共同参画計画推進事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 男女共同参画推進費
事業費	1,830 千円			予算書	116 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	性別にかかわらず、あらゆる分野において個性と能力を発揮して共に生きる社会を築くため、舞鶴市男女共同参画計画「まいプラン（第3次）」に基づき、男女共同参画社会の実現に向けた取組を推進する。 また、「第2次舞鶴市DV対策基本計画」に基づき、配偶者等からの暴力をはじめとしたあらゆる暴力の根絶に向け、啓発活動を実施する。
事業の内容	・「まいプラン（第3次）」改訂版の策定 ・男女共同参画講演会の開催 ・男女共同参画セミナーの開催 ・地域や学校等での啓発事業の実施 ・事業所に向けた啓発事業の実施 ・DV防止の啓発 ・男女共同参画情報の発信

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	9	児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金(1/2)	64
	府支出金	870	人権啓発事業費補助金(1/2) 人権啓発事業委託金	74・84
	地方債	-		
	その他	5	雑入(託児料)	102
	一般財源	946		

担当課	人権啓発推進課	課長名	山本 哲也	内線番号	1272
-----	---------	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 34

事業名	舞鶴市公共交通ネットワーク会議事業費補助金					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	交通対策費
事業費	393 千円			予算書	116 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	持続可能な公共交通のあり方検討や利用促進を図るため、「舞鶴市公共交通ネットワーク会議」が地域公共交通計画に基づき実施する公共交通利用促進事業に対して支援を行う。
事業の内容	・地域公共交通計画（令和3年2月策定）に基づく、公共交通利用促進事業の実施 ・JRポケット時刻表、路線バスマップ等作成

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	393		

担当課	企画政策	課	課長名	山本 仁士	内線番号	1330
-----	------	---	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 35

事業名	北近畿タンゴ鉄道支援事業費補助金					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	交通対策費
事業費	83,490 千円			予算書	116 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	京都丹後鉄道の線路・車両等の基盤等保有会社である北近畿タンゴ鉄道が、運行の安全を確保するために実施する事業等に対し、国及び沿線自治体（2府県及び5市2町）により支援を行う。 また、京都丹後鉄道の利用促進のため沿線市町（6市2町）で構成する「京都丹後鉄道利用促進協議会」の運営のため、分担金を負担する。				
	・ 北近畿タンゴ鉄道基盤管理補助 基盤管理委託料、管理経費分に対する補助 ・ 北近畿タンゴ鉄道経営対策補助 固定資産税相当額分、西駅交流センター賃借料分に対する補助 ・ 北近畿タンゴ鉄道基盤整備補助 北近畿タンゴ鉄道の実施する安全性の向上に資する鉄道施設の設備投資・更新に対する補助 ・ 協議会分担金等				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	23,800	総務債		104
	その他	-			
	一般財源	59,690			
担当課		企画政策	課	課長名	山本 仁士
				内線番号	1330

令和3年度 主な事務事業調

No. 36

事業名	バス路線維持確保対策費補助金					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	交通対策費
事業費	92,200 千円			予算書	116 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	市民生活の移動手段として重要な役割を果たすバス路線の維持確保を図るため、国、府と共に支援を行う。
事業の内容	・ 京都交通バス路線への補助 高浜線、大江線（2路線）、東西循環線（2路線）、常・溝尻循環線、和田線、朝来循環線、三浜線（2路線）、田井野原線（5路線）、長浜循環線、真倉線、市場循環線 ・ 自主運行バス路線（7地域）への補助 岡田上バス、岡田中バス、池内バス、西大浦バス、青井校区バス、杉山・登尾バス、多門院バス

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	30,450	市町村運行確保生活路線維持費補助金（1/2）	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	61,750		

担当課	企画政策	課	課長名	山本 仁士	内線番号	1330
-----	------	---	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 37

事業名	マイナンバーカード交付促進事業費				
費目	款	総務費	項	戸籍住民基本台帳費	目 戸籍住民基本台帳費
事業費	16,832 千円			予算書	122 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	デジタル社会に不可欠なマイナンバーカードについて、国は令和4年度末にほぼ全国民が保有している状況を目指しており、本市においても令和元年度に策定した「マイナンバーカード交付円滑化計画」の改訂を行った。 計画に基づき、令和4年度末にマイナンバーカードの交付率100%を目指すため、申請時来庁方式や、出張申請受付等のさらなる強化を図り、マイナンバーカードの交付を促進する。			
	【受付方法】 ○ 申請時来庁方式 通常のカード交付時に窓口で本人確認等を行う交付時来庁方式に加え、申請時に窓口で本人確認等を行い、後日、本人限定受取郵便でカードを送付する方式 ○ 出張申請受付方式 官公庁・企業等へ市職員が直接出向いて本人確認等受付を行い、後日、本人限定受取郵便でカードを送付する方式 ⇒令和2年度実績 出張申請受付件数…890件（令和3年2月2日現在） ※参考 舞鶴市マイナンバーカード交付状況…交付枚数20,338枚、 交付率24.8%（令和3年1月24日現在） 【令和3年度目標 交付枚数55,775枚 交付率68.0%】			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	16,832	個人番号カード交付事務費補助金（10/10）	64
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	-		
担当課	市民総務課	課長名	浜本 知子 濱上 輝彦 (マイナンバーカード普及利活用促進担当)	内線 1120 番号 1358

令和3年度 主な事務事業調

No. 38

事業名	生活困窮者自立相談支援事業費					
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉総務費
事業費	12,066 千円			予算書	132 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	社会的に孤立になりがちな生活困窮者等の早期自立に向け、それぞれの状況に応じた包括的・継続的な相談支援体制を構築するとともに、生活困窮者自立支援法に基づく各種事業を実施する。			
事業の内容	自立相談支援事業費 5,809 千円 住居確保給付金事業費 1,944 千円 就労準備支援事業費 3,595 千円 一時生活支援事業費 193 千円 家計改善支援事業費 525 千円			

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	8,687	生活困窮者自立相談支援事業費等負担金(3/4) 生活困窮者就労準備支援事業費等補助金(2/3)	62 64
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	3,379		

担当課	福祉援護	課	課長名	小寺 雅之	内線番号	2101
-----	------	---	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 39

事業名	外国人介護人材確保支援事業費					
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉総務費
事業費	600 千円			予算書	132 頁	
				事業区分	(新規)・拡大・継続	

事業の目的	不足する介護人材の確保については、日本人のみならず外国人もその担い手として捉える必要がある。 外国人留学生向けに他の介護福祉士養成校にはない生活費支援制度を設けることで、留学生が学習に専念する時間が確保できることにより、他の養成校と差別化を図り、舞鶴YMCA国際福祉専門学校（以下「YMCA」という。）で学び、舞鶴市内の介護施設で働く外国人介護福祉士の拡大を目指す。				
事業の内容	【外国人留学生生活費支援金】 600,000円 外国人留学生に本制度をアピールし、YMCAへの入学を促進 25,000円/人・月×12か月×2名分 【制度の概要】 ・貸付額は一人月額25,000円（YMCAの履修期間2年間を上限） ・市がYMCAへ貸付金を預託し、これを原資としてYMCAが外国人留学生に生活費を貸し付ける。 ・卒業後、舞鶴市内の福祉施設に就職すれば、貸し付けた額の半額は当該施設が負担する。				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	600	外国人介護人材確保支援制度貸付金収入		100
	一般財源	-			
担当課		福祉企画課	課長名	新谷 寿美子	内線番号 2290

令和3年度 主な事務事業調

No. 40

事業名	障害者自立支援給付費				
費目	款	民生費	項	社会福祉費 児童福祉費	目 社会福祉援護費 身体障害者福祉センター費 児童福祉措置費
事業費	2,110,742 千円			予算書	134・136 頁 ・138・148
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	障害者の自立と社会参加を図るため、障害者総合支援法に基づく下記の事業を実施するもの。			
事業の内容	【自立支援給付】 施設支援給付費 1,574,280千円 短期入所（ショートステイ）給付費 30,200千円 居宅介護（ホームヘルプ）給付費 95,900千円 障害者共同生活援助給付費（グループホーム） 222,700千円 重度視覚障害（児）者同行援護給付費 17,769千円 障害者計画相談支援給付費 35,044千円 障害者虐待防止支援事業費 100千円 【自立支援医療給付（更生医療・育成医療等）】 109,749千円 [更生医療 107,800千円、育成医療（児童福祉措置費） 1,949千円] 【補装具給付】 25,000千円			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	1,054,479	障害者介護給付・訓練等給付費負担金（1/2） 障害者医療費（育成医療）負担金（1/2）ほか	62
	府支出金	527,989	障害者介護給付・訓練等給付費負担金（1/4） 障害者自立支援医療費（育成医療）負担金（1/4）ほか	72
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	528,274		
担当課	障害福祉・国民年金 子ども支援 課		課長名	島田 敦司 新井 秀和
			内線 番号	2130 2150

令和3年度 主な事務事業調

No. 41

事業名	医療的ケア児（者）支援事業費					
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉援護費
事業費	7,426 千円			予算書	136 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	日常的に人工呼吸器を必要とする医療的ケア児者と看護に携わる家族の負担軽減や日中活動の促進に向けた施策として、居宅生活支援、短期入所利用促進支援、災害時等の非常時に備えた非常用電源の給付支援などの支援を実施する。			
事業内容	【事業概要】 ①居宅生活支援事業【移動支援、レスパイト（休息）支援】 3,241千円 ・福祉タクシー利用券交付（通院等外出支援） ・入院時コミュニケーション支援（付添としてヘルパーを派遣） ・居宅医療的ケア児支援（居宅等に看護師を派遣） ②医療的ケア児者等短期入所利用促進事業 3,485千円 ・短期入所受入体制補助 ・短期入所開始アセスメント補助 ・相談支援専門員モニタリング補助 ③日常生活用具給付事業 700千円 ・日常生活用具として、非常用電源を給付			

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	1,776	障害者地域生活支援事業費補助金（1/2）	64
	府支出金	2,630	障害者地域生活支援事業費補助金（1/4） 医療的ケア児者・重度心身障害児者福祉サービス利用等促進事業補助金（1/2）ほか	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	3,020		

担当課	子ども支援 障害福祉・国民年金 課	課長名	新井 秀和 島田 敦司	内線 番号	2150 2130
-----	----------------------	-----	----------------	----------	--------------

令和3年度 主な事務事業調

No. 42

事業名	障害者地域生活支援事業費				
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目 社会福祉援護費 身体障害者福祉センター費
事業費	120,140 千円			予算書	136・138 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	障害者の自立と社会参加を図るため、下記の市町村独自事業を実施するもの。			
事業の内容	【地域生活支援事業】 障害者相談支援事業費 24,000千円 (4か所の障害者支援センターによる相談支援) 地域活動支援センター事業費 30,000千円 障害者等移動支援事業費 4,680千円 (重度身体障害者等の移動支援) 聴覚言語障害者等支援事業費 16,270千円 (手話通訳者の設置、要約筆記者等の派遣) 日常生活用具給付事業費 26,200千円 障害(児)者日中一時支援事業費 10,840千円 心身障害者訪問入浴サービス事業費 8,050千円 成年後見制度利用支援事業費 100千円			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	47,524	障害者地域生活支援事業費補助金(1/2)	64
	府支出金	23,761	障害者地域生活支援事業費補助金(1/4)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	48,855		
担当課	障害福祉・国民年金 子ども支援 課		課長名	島田 敦司 新井 秀和
			内線 番号	2130 2150

令和3年度 主な事務事業調

No. 43

事業名	障害者しごとサポートセンター運営事業費					
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉援護費
事業費	3,242 千円			予算書	136	頁
				事業区分	新規・拡大	継続

事業の目的	障害者が住み慣れた舞鶴で心豊かに働き、就労を通じて社会に貢献する喜びを感じていただくために、就労の機会の創出を図り、長期にわたって就労することができるよう、障害者を雇用する事業所や障害者を支援するための取組を行う。				
事業の内容	「舞鶴市障害者しごとサポートセンター」による、障害者の一般就労に必要な取組を行う。 ①障害者雇用企業、実習実施事業所の開拓や障害者雇用に対する理解促進のための啓発活動 ②障害者雇用事業所に対する定着支援に関する出前講座の実施 ③ハローワークや障害者就業・生活支援センターわかば等障害者雇用の支援機関との連携 ④支援学校等に進学している学齢期の障害者就労支援に向けた検討				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	3,242			
担当課 障害福祉・国民年金 課			課長名	島田 敦司	内線番号 2130

令和3年度 主な事務事業調

No. 44

事業名	後期高齢者医療療養給付費負担金・後期高齢者医療事業会計繰出金					
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目	老人福祉費
事業費	1,323,978 千円			予算書	138・140 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	75歳以上の高齢者等を対象とした後期高齢者医療制度に係る経費のうち、京都府後期高齢者医療広域連合へ納める負担金等			
事業の内容	○後期高齢者医療療養給付費負担金 971,571千円 医療費の1/12 (京都府後期高齢者医療広域連合への負担金)			
	○後期高齢者医療事業会計繰出金 352,407千円 ・保険基盤安定分 292,696千円 ・事務費分 59,711千円			
財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国 支 出 金	-		
	府 支 出 金	219,521	後期高齢者医療保険基盤安定負担金 (3/4)	72
	地 方 債	-		
	そ の 他	-		
	一 般 財 源	1,104,457		
担当課 保険医療 課		課長名 樋口 誠	内線番号 2160	

令和3年度 主な事務事業調

No. 45

事業名	地域老人健康・生きがい対策事業費					
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目	在宅老人対策費
事業費	1,469 千円			予算書	140 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> 継続	

事業の目的	高齢者が地域社会において、知識と経験を活かし各種活動を行うことにより、社会参加と仲間づくりを促進し、健康及び生きがいの充実を図る。
事業の内容	高齢者の生きがいづくり及び健康づくりの推進を図るために、舞鶴市老人クラブ連合会が行う次の事業に対し補助を行うもの。 ・健康づくり・介護予防支援事業 ・地域支え合い事業 ・60歳から70歳前半までの若手高齢者組織化・活動支援事業 計 657千円 <新規> ・市町村老連活動支援体制強化事業 812千円 上記事業の円滑な実施及び企画立案や、入会促進・広報の充実を図るため、新たに推進員を設置する経費の一部を助成する。

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	954	在宅福祉事業費補助金(2/3)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	515		

担当課	高齢者支援課	課長名	小酒 由美子	内線番号	2140
-----	--------	-----	--------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 46

事業名	高齢者外出支援事業費					
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目	在宅老人対策費
事業費	19,350 千円			予算書	140 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	75歳以上の高齢者が外出しやすい環境をつくるため、高齢者が公共交通機関を利用する際の料金を支援する。 (期待する効果) ・高齢者の外出を支援し、健康増進に寄与する。 ・高齢者の外出により、消費活動を促し地域活性化に寄与する。
事業の内容	交通事業者と協力して、高齢者の外出支援を行う。 【事業内容】 75歳以上の高齢者を対象に、交通事業者と協力して、運賃の補助制度を設ける。 【補助対象】 ・バス（京都交通バス、自主運行バス） ・タクシー（舞鶴京都タクシー、日交タクシー、ふく福タクシー、介護専門タクシー） ・京都丹後鉄道

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	3,562	地方創生推進交付金(1/2)	64
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	12,226	雑入(利用者負担金)	102
	一般財源	3,562		

担当課	高齢者支援課	課長名	小酒 由美子	内線番号	2140
-----	--------	-----	--------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 47

事業名	人権教育・啓発推進計画策定経費					
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目	人権啓発費
事業費	590 千円			予算書	142 頁	
				事業区分	(新規)・拡大・継続	

事業の目的

事業の内容

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国 支 出 金	-		
	府 支 出 金	295	人権啓発事業費補助金(1/2)	74
	地 方 債	-		
	そ の 他	-		
	一 般 財 源	295		

担当課	人権啓発推進	課	課長名	山本 哲也	内線番号	1272
-----	--------	---	-----	-------	------	------

事業名	人権啓発事業費					
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目	人権啓発費
事業費	2,331 千円			予算書	142	頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	市民一人ひとりの人権が尊重される地域社会を築くため、「舞鶴市人権教育・啓発推進計画」に基づき、広く市民に人権の大切さを訴えるなど、人権意識の向上を図るための啓発を行う。			
事業の内容	・「人権のつどい」の開催 ・人権啓発講演会等の開催 ・人権啓発グッズ作成、配布 ・人権の花運動の実施（小学校、幼稚園等） 等			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	1,498	人権啓発事業費補助金(1/2) 人権啓発事業委託金	74 84
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	833		
担当課 人権啓発推進 課		課長名 山本 哲也		内線番号 1272

事業名	保育所・認定こども園運営事業（全体）					
費目	款	民生費 教育費	項	児童福祉費 幼稚園費	目	児童福祉措置費 保育所費 認定こども園費 幼稚園費
事業費	2,108,702 千円			予算書	146・148・150・ 152・228 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的 「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、必要な保育サービスの提供量の確保及び質の向上を図り、より良好な保育の環境づくりを推進する。また、「幼保連携型認定こども園」への移行を着実に推進することにより、0歳から就学前までの一貫した子どもの育ちや学びを支援する教育・保育体制のさらなる充実を図る。

事業の内容	1. 民間認可保育園（2園・定員 150人）	
	① 保育委託事業費	186,339千円
	2. 民間認定こども園（12園・定員 1,172人）	
	② 施設型給付費（2・3号）	1,037,191千円
	③ 施設型給付費（1号）〈教育費〉	241,470千円
	3. 民間認可保育園・民間認定こども園に対する各種事業	
	<u>拡</u> ④ 保育士の処遇改善事業費補助金	33,216千円
	⑤ 保育の質の向上に係る保育士確保支援事業費補助金	2,880千円
	<u>新</u> ⑥ 保育士就労奨励事業費【No. 51】	6,200千円
	⑦ 保育士の就業促進補助金	4,386千円
	<u>新</u> ⑧ 保育利用児童受入促進事業費【No. 50】	20,850千円
	⑨ 一時預かり事業費補助金〈民生費・教育費〉	30,606千円
	⑩ 延長保育促進事業費補助金	6,629千円
	⑪ 保育所等発達支援事業費補助金	17,091千円
	⑫ 保育所等運営・人材確保基盤強化支援事業補助金	4,490千円
	⑬ 保育所等施設整備資金借入金利子補給金	862千円
内容	4. 公立保育所（2保育所・定員350人）	
	⑭ 運営費	390,993千円
	5. 公立認定こども園（1園・定員93人）	
	⑮ 運営費	125,499千円

財源	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
内訳	国支出金	736,495	子どものための教育・保育給付交付金 (1/2、56.835/100) 他	62・ 64・68
	府支出金	402,383	子どものための教育・保育給付交付金 (21.5825/100、1/4) 他	72・74・ 76・82
	地方債	-		
	その他	77,669	保育所保育料、保育所使用料、認定こども園使用料、雑入（給食代）他	54・ 56・102
	一般財源	892,155		

担当課 幼稚園・保育所 課

課長名 川崎 弘史

内線
番号 2471

事業名	保育利用児童受入促進事業費					
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉措置費
事業費	20,850 千円			予算書	146 頁	
				事業区分	(新規)・拡大・継続	

事業の目的	満3歳未満児における保育ニーズの増加に対応するため、長時間保育を必要とする子どもを「幼稚園」で受け入れる体制を確保し、待機児童の早期解消を図る。			
事業の内容	保育の必要性があるが保育施設（認可保育所・認定こども園）への入所ができない子どもを対象として、市内の私立幼稚園において、一定期間の継続的な保育（定期利用保育）を実施する。 【対象児童】 1歳児または2歳児 （ただし、保育施設への入所が保留となった児童に限る。） 【実施予定施設】 市内の私立幼稚園 ※ 5～6園程度を予定 【利用料金】 各施設の園則に準じる ※ ただし、保育施設の利用者負担額（保育料）に沿った金額設定となるよう要請			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	6,950	子ども・子育て支援交付金(1/3)	64
	府支出金	6,950	子ども・子育て支援交付金(1/3)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	6,950		
担当課 幼稚園・保育所 課		課長名	川崎 弘史	内線番号 2471

事業名	保育士就労奨励事業費					
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉措置費
事業費	6,200 千円			予算書	148 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	満3歳未満児における保育ニーズが依然として高い状況の中、直面する保育士不足の課題に対応するため、認可保育所・認定こども園に採用される保育士へのインセンティブ制度を導入することにより、保育士の就業促進を図るとともに、待機児童の早期解消を図る。					
事業の内容	民間保育園・民間認定こども園（3号認定子どもの利用定員を設定している施設に限る）に、常勤保育士として採用された方に対して、就労奨励金を支給する。 ① 就労奨励金： 20万円 ② 転入奨励金： 20万円 ③ 復職奨励金： 10万円 ただし、市内の保育所等を離職した方が復職する場合は、離職から1年以上の期間を経過していることを要件とする。 ※ ①～③いずれも、保育士1人につき1回限りとする。 ※ 採用後、2年以内に退職した場合は全額返還が必要。					

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	6,200	ふるさと応援寄附金	90
	一般財源	-		

担当課	幼稚園・保育所 課	課長名	川崎 弘史	内線番号	2471
-----	-----------	-----	-------	------	------

事業名	(再掲) 認定こども園への移行について					
費目	款	民生費 教育費	項	児童福祉費 幼稚園費	目	児童福祉措置費 認定こども園費 幼稚園費
事業費	1,404,160 千円			予算書	148・152・頁 228	
				事業区分	新規 <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	保育の質の向上につながる環境づくりを推進する中、私立幼稚園のうち1園が、令和3年度から新たに「幼保連携型認定こども園」に移行することにより、0歳から就学前までの一貫した子どもの育ちや学びを支援する教育・保育体制のさらなる充実を図る。			
事業の内容	1. 【公立】認定こども園（舞鶴こども園） 《定員：93人》 施設運営費 125,499千円 2. 【民間】認定こども園 《定員：1,172人》 (民生費) 施設型給付費 (2・3号) 1,037,191千円 (教育費) 施設型給付費 (1号) 241,470千円 《令和3年度移行園》 森の子ら幼稚園 《定員：30人》 ※ 令和3年度施設数 ・認可保育所 公立2園 民間2園 計4園 ・認定こども園 公立1園 民間12園 計13園 ・幼稚園 公立0園 民間10園 計10園			

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	620,166	子どものための教育・保育給付交付金 (1/2、56.835/100) 他	62・64
	府支出金	315,842	子どものための教育・保育給付交付金 (21.5825/100、1/4) 他	72・74・82
	地方債	-		
	その他	11,271	認定こども園使用料、雑入(給食代) 他	54・56・102
	一般財源	456,881		

担当課	幼稚園・保育所 課	課長名	川崎 弘史	内線番号	2471
-----	-----------	-----	-------	------	------

事業名	乳幼児教育充実・強化推進事業費					
費目	款	民生費 教育費	項	児童福祉費 幼稚園費	目	児童福祉措置費 保育所費 認定こども園費 幼稚園費
事業費	10,304 千円			予算書	146・150・ 152・228	頁
				事業区分	新規・拡大	継続

事業の目的	「主体性を育む乳幼児教育の推進」を基本理念とする乳幼児教育ビジョンに基づき、市民の乳幼児教育への理解を深め、保育者・教員の研修による質向上を図るとともに、保育所・幼稚園・認定こども園から小学校へのさらに円滑な接続とするため、保幼小連携の一層の充実を図ることにより、“乳幼児期の豊かな成長への支援”を強化する。 また、「舞鶴市乳幼児教育センター」を拠点とし、当該ビジョンに基づいた乳幼児教育の実践の推進や情報発信、保育者の育成強化等に取り組むことで当該ビジョンの具現化をさらに推し進め、乳幼児教育の充実を目指す。			
事業内容	■ 乳幼児教育ビジョン及びビジョンに基づく実践の周知・情報発信 ・ニュースレター等の発行：8回　・出前講座等の実施：4回 ■ 乳幼児教育の質の向上研修 ・公立・私立の保育者・教員が共に学ぶ研修等の実施 （子どもを主体とした保育、保幼小連携等） 講演会：1回　公開保育：5回　その他　研修：6回 ・研究指定園：2園 ■ 保幼小中接続カリキュラムの活用促進 ・連携協力園・校の連携活動の充実・強化 ■ 「乳幼児教育センター」の運営 ・乳幼児教育コーディネーター・相談員の配置 ・センター運営会議の開催　3回　等 【民生費】 児童福祉措置費（民間保育園・民間認定こども園）800千円 保育所費（公立保育所）390千円 認定こども園費（公立認定こども園）150千円 【教育費】 幼稚園費（乳幼児教育全般）8,964千円			
財源内訳	区　　分	金　額(千円)	歳　入　名　称（補　助　率　等）	予算書
	国支出金	4,651	子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金(1/2)、教育支援体制整備事業費交付金(1/2)	64・68
	府支出金	-		
	地方債	-		
	そ　の　他	-		
	一　般　財　源	5,653		
担当課　幼稚園・保育所　課		課長名　川崎　弘史	内線番号　2471	

事業名	施設等利用費（幼児教育・保育の無償化による給付）					
費目	款	民生費 教育費	項	児童福祉費 幼稚園費	目	児童福祉措置費 幼稚園費
事業費	353,738 千円			予算書	148・228 頁	
				事業区分	新規・拡大 継続	

事業の目的	幼児教育・保育の無償化の実施に伴い、幼稚園、認可外保育施設等の利用料を給付することにより、子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。			
事業内容	① 幼稚園 327,830千円 満3歳から5歳までの全ての子どもについての利用料を無償化。 月額上限額 25,700円 ② 幼稚園・認定こども園の預かり保育 19,908千円 (1号認定子ども) 保育の必要性の認定を受けた、3歳から5歳までの全ての子ども (月額上限額 11,300円) 及び満3歳の住民税非課税世帯の子ども (月額上限額 16,300円) についての利用料を無償化。 ③ 認可外保育施設、一時預かり、病児保育 6,000千円 保育の必要性の認定を受けた、3歳から5歳までの全ての子ども (月額上限額 37,000円) 及び0歳から2歳までの住民税非課税世帯 の子ども (月額上限額 42,000円) についての利用料を無償化。			

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	176,869	子育てのための施設等利用給付交付金(1/2)	62
	府支出金	88,434	子育てのための施設等利用給付交付金(1/4)	72
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	88,435		

担当課 幼稚園・保育所 課

課長名 川崎 弘史

内線
番号 2471

令和3年度 主な事務事業調

No. 55

事業名	障害児通所給付費					
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉措置費
事業費	254,050 千円			予算書	148 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	児童福祉法に定める障害児通所支援である児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援により、幼児期、学齢期（小・中・高校）の障害児の生活能力向上のための訓練、社会との交流促進等を継続的に提供し、障害児の自立を促進する。
事業の内容	《事業概要》 ◎児童発達支援【3事業所】 未就学児に対し、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練を実施する。 ◎放課後等デイサービス【9事業所】 就学児童や重症心身障害児童に対し、生活能力の向上のために必要な訓練や社会との交流促進を実施する。 ◎保育所等訪問支援【2事業所】 専門職員が対象施設（保育所、幼稚園、小学校等）を訪問し、集団生活適応訓練等や、対象施設職員への支援を実施する。

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	126,668	障害児施設給付費等負担金(1/2)	62
	府支出金	63,334	障害児施設給付費等負担金(1/4)	72
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	64,048		

担当課	子ども支援課	課長名	新井 秀和	内線番号	2150
-----	--------	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 56

事業名	子育て支援施策の取組				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 子育て支援費
事業費	60,118 千円			予算書	150 頁
				事業区分	新規・拡大 (継続)

事業の目的	社会環境が大きく変化し、ライフスタイルの多様化等により、子育てに負担や不安を抱える親が増加している現状に対応するため、親子が精神的に厳しい状況に追い込まれてからの「虐待対応・早期発見」ではなく、「予防」の視点を強化し、親のストレスが子どもに向かうことがないよう、親自身の潜在力を引き出す取組を強化する。 また、子育て交流施設「あそびあむ」については、令和3年2月策定の『子育て交流施設「あそびあむ」これからの運営方針』に基づき、子どもの豊かな成長と親子の絆を重視した様々な事業を拡充・展開する。			
	1. 子育て支援基幹センター運営経費 6,364千円 ・妊娠期からの安心の繋がり体制の構築 ・家庭の子育て力の向上 ・これから親になる世代への取組 2. 子育て交流施設（あそびあむ）管理運営経費 27,975千円 ・多世代の参画促進など、共生による子育て支援の推進 ・市民が主体となる組織（NPO）との共同による事業運営 ・「どこでもあそびあむ事業」（舞鶴の資源、風土を活用した遊びの充実）や、SNSを活用した情報発信など、新しい取組の展開 3. 地域子育て支援拠点運営経費（市内4か所） 19,055千円 ・親子の交流の場や相談、情報提供、講座等の実施 ・家庭訪問等による孤立しがちな家庭へのアプローチ 4. ファミリー・サポート・センター事業費 5,500千円 ・産前・産後期の訪問支援の実施 ・一時預かりや育児支援の実施 5. こんにちは赤ちゃん事業費 1,224千円 ・地域の見守りによる孤立予防			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	11,519	子ども・子育て支援交付金（1/3）	64
	府支出金	11,519	子ども・子育て支援交付金（1/3）	74
	地方債	-		
	その他	2,097	子育て交流施設入館料、雑入（託児料）	56・102
	一般財源	34,983		
担当課		子ども支援課	課長名	新井 秀和
			内線番号	2150

令和3年度 主な事務事業調

No. 57

事業名	放課後児童健全育成事業費					
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目	子育て支援費
事業費	110,898 千円			予算書	150 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	平日の放課後や土曜日、学校の長期休業期間等に学校施設等を利用して児童を安全に預かるとともに、支援体制の充実を図り、児童の健全育成並びに保護者の仕事と子育ての両立支援に取り組む。 令和3年度においても、引き続き通年開設している児童クラブのほか、夏休みに限定した児童クラブを実施するなど、児童の安心安全な預かり、保護者の家庭と仕事の両立支援を図る。					
事業の内容	1 事業委託先・実施場所 [通年開設クラブ 計 29クラブ] ・各小学校区の地域子育て支援協議会 (全18小学校区26クラブ、各小学校の余裕教室等) ・社会福祉法人舞鶴双葉寮 (児童センターふたば、桃山町) ・社会福祉法人瑞光福祉会 (めだかクラブ、公文名) ・社会福祉法人大樹会 (南舞鶴放課後児童クラブ、行永) 2 開設日 ・平日(月～金)：放課後～午後6時30分まで ・土曜日、長期休業日：午前8時～午後6時30分まで 3 保護者負担金 ・年額 72,000円(2子目以降は半額) ※生活保護世帯には全額、市民税非課税世帯には、半額を補助 4 放課後児童クラブ運営の質の向上に資する取組 ・放課後児童支援員の京都府認定資格研修の受講促進等 5 夏休み児童クラブの設置(2ヶ所＝東地域：1ヶ所、西地域：1ヶ所) (1) 委託先：公益社団法人舞鶴市シルバー人材センター(予定) (2) 保護者負担金 11,000円(2子目以降は半額) ※生活保護世帯には全額、市民税非課税世帯には、半額を補助					

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	34,612	子ども・子育て支援交付金(1/3)	64
	府支出金	34,612	子ども・子育て支援交付金(1/3)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	41,674		

担当課	子ども支援課	課長名	新井 秀和	内線番号	2150
-----	--------	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 58

事業名	子育て世帯住宅リフォーム等支援事業費					
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目	子育て支援費
事業費	10,900 千円			予算書	150 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	総合計画に掲げる「子育て環境日本一を目指すまち」を推進するための事業の一環として、子育て世帯が住環境を整えるための経済的支援や親子三世代同居・近居を促し子育て負担の軽減を図るとともに、市外からのUターンを促すことを目的に実施する。				
事業の内容	親との（三世代）同居を促すことで、子育て（多子・三世代）世帯の経済的、育児に係る負担の軽減を図り、子育てしやすいまちづくりに努める。 【対象】 ・多子世帯（子ども3人以上がいる世帯） ・三世代近居を新たに始める世帯 ・三世代同居を新たに始める世帯 【補助額】 ・住宅リフォーム工事 事業費×1/2（限度額100万円） ・住宅購入仲介手数料 事業費×1/2（限度額40万円） ・住宅賃借仲介手数料 事業費×1/2（限度額5万円）				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	5,450	京都府結婚・子育て応援住宅総合支援事業費補助金（1/2）		76
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	5,450			
担当課 子ども支援 課			課長名 新井 秀和		内線番号 2150

事業名	子ども総合相談センター運営経費					
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目	子育て支援費
事業費	18,388 千円			予算書	150 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的

安心して子どもを産み育てることができるよう、妊娠期から出産・子育て期、さらには18歳までの子どもに関わる様々な悩みや相談、支援をワンストップで提供する「子どもなんでも相談窓口」において、子育て支援基幹センター、保健センターと連携し、3センターが一つのチームとなって切れ目のない子育て支援を実施する。

事業内容

1. 子ども総合相談センターの事業内容

(1) 育児、養護、不登校、非行、児童虐待等、子どもに関する様々な悩みや相談に関係機関と連携して対応し支援を行う。

(2) 要保護児童対策地域協議会の調整機関として、要保護(児童虐待)ケース、要支援ケース、特定妊婦に関係機関と連携して対応し支援を行う。

2. 市町村子ども家庭総合支援拠点による相談・支援体制の充実

(1) 児童虐待の発生予防から自立支援までを総合的に対応する市町村子ども家庭総合支援拠点の機能を有する「子どもなんでも相談窓口」において、子どもとその家庭及び妊産婦等を対象として、必要な支援を行う。

(2) 「子ども総合相談センター」においては、要支援児童若しくは要保護児童及びその家庭又は特定妊婦を対象とした支援業務について、虐待対応専門員の配置や研修の充実などにより体制の強化を図る。

(3) 具体的な業務内容

①子ども家庭支援全般に係る業務(実情把握、情報提供、相談等対応、総合調整)

②要支援児童及び要保護児童等への支援業務

③関係機関との連絡調整

財源内訳

区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
国 支 出 金	8,943	児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金(1/2)、子ども・子育て支援交付金(1/3)	64
府 支 出 金	120	子ども・子育て支援交付金(1/3)	74
地 方 債	—		
そ の 他	—		
一 般 財 源	9,325		

担当課

子ども支援課

課長名

新井 秀和

内線番号

2150

令和3年度 主な事務事業調

No. 60

事業名	生活保護扶助費					
費目	款	民生費	項	生活保護費	目	扶助費
事業費	1,487,816 千円			予算書	154 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	生活困窮者に対し、必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、自立を支援する。		
事業の内容	施設事務費 35,820 千円 生活扶助費 400,726 千円 住宅扶助費 196,847 千円 教育扶助費 5,063 千円 介護扶助費 37,871 千円 医療扶助費 801,645 千円 出産扶助費 413 千円 生業扶助費 6,036 千円 葬祭扶助費 2,195 千円 就労自立給付金 600 千円 進学準備給付金 600 千円		

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	1,101,713	生活保護費負担金(3/4)	62
	府支出金	30,219	生活保護費負担金(1/4)	72
	地方債	-		
	その他	7,236	雑入(生活保護法第63条による返還金)	102
	一般財源	348,648		

担当課	福祉援護	課	課長名	小寺 雅之	内線番号	2101
-----	------	---	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 61

事業名	公共施設再生可能エネルギー利活用調査事業費					
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	保健衛生総務費
事業費	70,000 千円			予算書	158 頁	
				事業区分	(新規)・拡大・継続	

事業の目的	公共施設への積極的な再生可能エネルギーの導入により、環境負荷の低減、分散型エネルギー供給拠点の形成、エネルギーの地産地消による新たな地域経済の創出、防災体制の強化を図る。 また、建物の規模や用途に合わせた再生可能エネルギー導入モデルを構築し、温室効果ガス及びランニングコスト削減効果の検証を行い、他の施設への展開を図る。
事業の内容	再生可能エネルギーを利用した空調設備等導入の実現可能性調査及び実施設計を行う。 ○対象施設 ・舞鶴文化公園体育館 ・中総合会館

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	70,000	エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金(定額)	64
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	-		

担当課	資産マネジメント推進 生活環境	課	課長名	岩田 宏幸 大谷 美香	内線 番号	1361 1295
-----	--------------------	---	-----	----------------	----------	--------------

令和3年度 主な事務事業調

No. 62

事業名	予防接種事業費					
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	予防費
事業費	227,167 千円			予算書	158 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	予防接種法に基づき、感染症の発生及びまん延を予防するため、乳幼児・児童等に対する予防接種を全額公費負担により実施し、公衆衛生の向上に努める。また、高齢者に対しては、個人の感染予防のため、インフルエンザ及び肺炎球菌予防接種を一部自己負担により実施する。				
事業の内容	いずれも、協力医療機関へ委託して実施 【乳幼児・児童・生徒】 ○ ロタウイルス(生後2か月～14週6日まで) 2回又は3回 ○ B型肝炎(2か月～1歳未満) 3回 ○ ヒブ(2か月～5歳未満) 4回 ○ 小児用肺炎球菌(2か月～5歳未満) 4回 ○ 四種混合1期(3か月～7歳6か月未満) 4回 ○ 二種混合(満12歳) 1回 ○ 不活化ポリオ(3か月～7歳6か月未満) 4回 ○ BCG(5か月～1歳未満) 1回 ○ 日本脳炎1期(3歳～7歳6か月未満) 3回・2期(10歳～13歳未満) 1回 * 積極的な接種勧奨が差し控えられていた期間に接種できなかった方に対する特例措置あり。 ○ 麻しん風しん1期(1歳～2歳未満) 1回・2期(小学校入学前の1年間) 1回 ○ 水痘(1歳～3歳未満) 2回 ○ 子宮頸がん(中学1年生～高校1年生) 3回 【高齢者】 ○ インフルエンザ(対象者: 65歳以上) 個人負担金 1,500円(非課税世帯等は減免あり) ○ 肺炎球菌(対象者: 65、70、75、80、85、90、95、100歳) 個人負担金 4,000円(非課税世帯等は減免あり) * 過去に、23価肺炎球菌ワクチンを接種した者は対象から除外				

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	227,167		

担当課	健康づくり	課	課長名	岸本 昭彦	内線番号	6200
-----	-------	---	-----	-------	------	------

事業名	健康増進事業					
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	成人保健費
事業費	78,071 千円			予算書	160 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	生涯を通じて健康で生き生きと暮らすことができるよう、病気の早期発見、早期治療並びに生活習慣病の発症及び重症化予防を目的とした各種健康増進事業を実施する。				
事業の内容	1. 健康教育【事業費：215千円】 糖尿病講演会、歯周病予防啓発等の実施。 2. 健康相談【事業費：114千円】 健康に関する相談の実施。 3. 健康診査【事業費：72,967千円】 ・後期高齢者（75歳以上）と、40歳以上の生活保護受給者を対象に特定健康診査と同様の健診を実施。（自己負担金 無料） ・後期高齢者を対象に人間ドック費用の一部を助成。 75歳の後期高齢者を対象に歯科健診を実施。（自己負担金 無料） 4. 肝炎ウイルス検診【事業費：3,061千円】 過去に肝炎ウイルス検診を受けたことがない40歳以上の市民を対象とした検診及び陽性者のフォローを実施し、B型C型肝炎の早期発見、早期治療につなげる。 5. 訪問指導【事業費：140千円】 健診後の要指導者等に訪問指導（歯科を含む）を実施し、生活習慣病の発症及び重症化の予防を図る。 6. 歯周疾患検診【事業費：1,574千円】 節目年齢（40、50、60、70歳）の市民を対象に個別方式で実施。				
財源	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	4,234	市町村健康増進事業費補助金（2/3）		76
	地方債	-			
内訳	その他	35,935	雑入（保健事業検診個人負担金、後期高齢者医療保健事業補助金、長寿・健康増進事業特別調整交付金）		102
	一般財源	37,902			
担当課	健康づくり 保険医療		課長名	岸本 昭彦 樋口 誠	内線 6200 番号 2160

事業名	がん検診事業費					
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	成人保健費
事業費	93,269 千円			予算書	160 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的

事業の内容

事業の内容

40歳以上の市民（子宮頸がん検診は20歳以上の女性）を対象に各種がん検診を実施し、がんによる死亡者数を減少させる。

【実施するがん検診の内容】

検診項目	対象年齢	予定人数	検診内容	受診場所	
				医療機関	保健センター等
胃がん検診	50歳以上	2,000人	問診・胃X線検診		○
肺がん検診	40歳以上	4,000人	問診・胸部X線検診		○
大腸がん検診	40歳以上	6,550人	問診・便潜血検査	○	○
乳がん検診	40歳以上女性	3,450人	問診・マンモグラフィ検査	○	
子宮頸がん検診	20歳以上女性	2,950人	問診・細胞診	○	

【受診率アップのための個別通知】

がん検診受診率アップを図るため、封書、はがきなどにより対象となる市民に個別通知を送付する。

区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
国 支 出 金	2,885	感染症予防事業費等国庫補助金 (1/2)	64
府 支 出 金	168	市町村休日総合がん検診支援事業費補助金(10/10)	76
地 方 債	-		
そ の 他	3,600	雑入 (保健事業検診個人負担金)	102
一 般 財 源	86,616		

担当課	健康づくり 課	課長名	岸本 昭彦	内線番号	6200
-----	---------	-----	-------	------	------

事業名	健康づくり推進事業費					
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	成人保健費
事業費	770 千円			予算書	160 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	市民一人ひとりが健康づくりに主体的に取り組めるよう、身近な人と共に楽しく励まし合って、気軽に取り組むことができるウォーキングを推進するとともに、市民や企業、医療機関、各種民間団体などと連携を図りながら、社会全体で市民の健康づくりを支援する環境を整備する。					
事業の内容	1. ウォーキングの推進【事業費：282千円】 健康にリスクを抱え生活習慣の改善が必要な市民を対象としたウォーキング事業の実施。 ①事業所主催の歩王（ウォーキング）事業を支援 健康経営を目指す事業所がウェアラブル活動量計等を活用し、職場内で実施される歩王（ウォーキング）事業をサポートする。 ②働き盛り世代のウォーキング事業の実施 携帯アプリを活用した職場対抗歩王（ウォーキング）事業の実施。 2. 市民の健康づくりを支援するための環境整備【事業費：488千円】 ①まい健プロジェクトを推進 ポピュレーションアプローチによる市民の健康づくりを推進するため、市の健康づくり事業に賛同し、主体的に運動継続や減塩の取組みに協力する企業・団体を募集し、その取組みを市民に向けて広く周知する。 ②薬局等でのヘモグロビンA1c等の測定実施に係る補助 市民に身近な薬局等で気軽に健康チェックを受けることができる環境を整備することで、生活習慣の改善や健診受診、医療機関への受療につなげられるよう、実施主体となる薬局に対して測定経費の補助を行う。					

財 源 内 訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国 支 出 金	-		
	府 支 出 金	-		
	地 方 債	-		
	そ の 他	25	雑入（事業参加個人負担金）	102
	一 般 財 源	745		
担当課 健康づくり 課		課長名 岸本 昭彦		内線番号 6200

事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業費					
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	成人保健費
事業費	16,154 千円			予算書	160 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	保健師や歯科衛生士などが、地域の高齢者が集う場において、健康講座や健康相談・訪問指導をきめ細やかに行うことで、生活習慣病などの慢性疾患の悪化や加齢による心身の衰弱（フレイル）を予防し、高齢期になっても、住み慣れた地域で生き生きとした暮らしが続けられる地域づくりを目指す。				
事業の内容	【実施方法】 京都府後期高齢者医療広域連合委託事業 【実施内容】 1. 高齢者が集う場における健康講座・健康相談 対象：各地域で実施している「サロンdeすどれっち」実施団体等約100か所 内容：フレイル予防に係る普及啓発 簡易質問票や身体・体力測定によるフレイルチェック 口腔機能チェック 低栄養リスクチェック 個別健康相談 2. 高齢者に対する個別的支援 通いの場不参加者や健診未受診者など健康状態不明者への訪問指導				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	16,154	雑入(後期高齢者医療保健事業補助金(広域連合))		102
	一般財源	-			
担当課	健康づくり 高齢者支援	課	課長名	岸本 昭彦 小酒 由美子	内線 6200 番号 2140

令和3年度 主な事務事業調

No. 67

事業名	ごみ処理手数料見直し関連事業					
費目	款	衛生費	項	清掃費	目	清掃総務費 塵芥処理費
事業費	296,250 千円			予算書	164 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的

本市では、平成17年10月から「可燃ごみ有料化」を実施してきたところであるが、さらなる3Rの推進と環境負荷の低減、適正処理の推進、公平な受益者負担の実現に向け、令和3年7月からごみ処理手数料の見直しを行う。
今回のごみ処理手数料の見直しに併せて、ごみ処理に関する市民サービス向上を図るため、ペットボトル・プラスチック容器包装類の月2回収集、高齢者等ごみ出し支援戸別収集を実施する。

事業の内容

○ごみ減量化推進事業費（165,428千円）
・可燃ごみの手数料（指定ごみ袋の販売価格）の値上げ
・不燃ごみのうち、ペットボトル、プラスチック容器包装類、埋立ごみの指定ごみ袋制による有料化

○不燃ごみ収集事業費（123,722千円）
（うち、月2回収集による増額分6,370千円）
家庭ごみの中でも排出量が多く、家庭での保管スペースが必要となるペットボトルとプラスチック容器包装類について、既存の不燃ごみ集積所で月2回収集を実施。

○高齢者等ごみ出し支援戸別収集事業費(7,100千円)
自らごみ出しができず、ホームヘルプサービスを利用している高齢者や障害のある人で、一定の要件を満たした人を対象に収集業者による戸別収集を実施。

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称（ 補 助 率 等 ）	予算書
	国 支 出 金	-		
	府 支 出 金	-		
	地 方 債	-		
	そ の 他	197,761	ごみ処理手数料、雑入（再生品・資源化物等売却代金）	60・102
	一 般 財 源	98,489		

担当課	生活環境 課	課長名	大谷 美香	内線番号	1295
-----	--------	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 68

事業名	次期最終処分場整備事業費				
費目	款	衛生費	項	清掃費	目 塵芥処理費
事業費	601,800 千円			予算書	164 頁
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続

事業の目的	現在の一般廃棄物最終処分場が令和3年度中に埋立完了する見込みとなったため、新たな最終処分場の令和3年度中の供用開始を目指す。
事業の内容	●本工事（598,737千円） - 実施期間 平成30年度～令和3年度（債務負担行為を設定） ■次期最終処分場建設計画 平成29、30年度 生活環境影響調査、基本設計、詳細設計 平成30～令和3年度 建設工事 令和3年度 供用開始 ■規模・整備内容 - 整備場所：大波上小字田黒地内（既設埋立地南側） - 施設構造：管理型 - 埋立構造：準好気性埋立構造 - 構造形式：オープン型埋立地 - 整備面積：約19,000㎡ - 埋立容量：約123,000㎡（覆土含む） - 埋立期間：約15年間 ■全体事業費：2,020百万円（債務負担行為設定額）

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	85,254	循環型社会形成推進交付金（1/3）	66
	府支出金	-		
	地方債	516,500	清掃債	104
	その他	-		
	一般財源	46		

担当課	生活環境	課	課長名	大谷 美香	内線番号	1295
-----	------	---	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 69

事業名	第一工場整備事業費				
費目	款	衛生費	項	清掃費	目 清掃事務所管理費
事業費	1,248,180 千円			予算書	166 頁
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続

事業の目的

当施設は、平成5年に新設され、平成13年～14年にかけて、ダイオキシン対策により大規模改修を施工したが、令和元年時点で17年を経過し、安定的なごみ処理に支障をきたしてきたため、同年から5ヶ年計画で長寿命化工事を実施する。

事業の内容

5ヶ年計画の3年目となる令和3年度は、詳細設計に基づき、下記工事を施工する。

【設備更新工事】

受入供給設備（投入扉、ごみクレーン）
 燃焼設備（投入ホッパ、燃焼装置、空冷板煉瓦 等）
 燃焼ガス冷却設備（ガス冷却室、ガス冷却用噴射ノズル 等）
 排ガス処理装置（ろ過式集じん機）
 通風設備（押込送風機、空気予熱器、ガス減温器、風道 等）
 灰出設備（焼却灰押出装置、灰クレーン、異物除去装置 等）
 電気設備（動力・現場制御盤部分更新）
 計装設備（電油操作器、4成分分析計 等）

【全体計画】

○整備期間：令和元年度から令和5年度まで
 ○全体事業費：3,800百万円（債務負担行為設定額）

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	624,087	防衛施設周辺民生安定施設整備事業費補助金(5/10)	66
	府支出金	-		
	地方債	624,000	清掃債	104
	その他	-		
	一般財源	93		

担当課	清掃事務所	課長名	田中 洋一	外線番号	63-1614
-----	-------	-----	-------	------	---------

令和3年度 主な事務事業調

No. 70

事業名	救急医療体制の確保に向けた取り組み					
費目	款	衛生費	項	医療対策費	目	医療対策総務費
事業費	88,214 千円			予算書	172 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	休日の救急輪番制の実施や市内公的3病院（舞鶴医療センター、舞鶴共済病院、舞鶴赤十字病院）の救急医療体制への支援、休日急病診療所の運営を行うことにより、市民が安全・安心に暮らすことができる救急医療体制の確保を図る。					
事業の内容	1. 休日救急輪番制事業費 26,068千円 市内公的3病院の協力を得て、休日救急輪番制を委託実施。 ・診療体制：公的3病院による輪番体制 ・診療日：休日（日曜日・祝日・年末年始） ・診療科目：内科、外科の一次・二次救急医療、小児科の一次救急医療 2. 公的病院救急医療体制確保事業費補助金 45,000千円 平日夜間、土曜日、輪番日以外の休日（平常診察時間外）における救急医療体制の確保に対して支援。 ・補助対象者：公的3病院 ・補助対象経費：平常診察時間外における救急患者への対応に要する経費 ・補助率：1/3（上限額1,500万円/病院） 3. 舞鶴市休日急病診療所管理運営経費 17,146千円 舞鶴医師会等の協力により運営している「舞鶴市休日急病診療所」において、休日の一次救急（内科系の病状で比較的軽い方への応急的対応）を担うことにより、公的病院の救急医療に従事する勤務医の負担を軽減。また、二次救急（入院や手術が必要な重症者に対応）が必要と判断される場合は、輪番病院と連携して対応。 令和3年度にマイナンバーを健康保険証として利用するオンライン資格確認に係るシステム整備を実施 ・診療日：毎週日曜日 ・診療時間：午前9時～12時、午後1時～午後5時 ・診療科目：内科 ・診療内容：病状の比較的軽い方に対する応急的診療 ・診療体制：医師（舞鶴医師会及び舞鶴市民病院）、薬剤師、看護師					

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金			
	府支出金	7,500	きょうと地域連携交付金(1/2)	76
	地方債	-		
	その他	6,611	休日急病診療所収入、診断書交付手数料、雑入（保険医療機関等向け医療提供体制設備整備交付金）	56・60・102
	一般財源	74,103		

担当課	地域医療課	課長名	松本 真俊	内線番号	2467
-----	-------	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 71

事業名	地域医療の充実に向けた取り組み					
費目	款	衛生費	項	医療対策費	目	医療対策総務費
事業費	22,200 千円			予算書	172 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	医学生等に対する奨学金の貸付等により、医学生や研修医に本市の良さや魅力を知ってもらい、将来における本市での勤務及び定着化を図る。 また、本市をはじめとする府北部地域に共通する医療課題について、京都府立医科大学と共同で研究に取り組み、地域医療の充実につなげる。				
事業の内容	1. 舞鶴市地域医療確保奨学金等貸付金 9,000千円 医学生、研修医を対象に月額15万円を貸与（5名） ※市内医療機関での勤務など一定要件による返還免除の規定あり 2. 「地域医療の充実」共同研究事業費 13,000千円 人口減少、少子高齢化といった共通の社会的課題を有する府北部地域において、医師の不足や診療科の偏在といった医療課題について、京都府立医科大学と舞鶴市が共同で研究に取り組み、地域医療の充実につなげる。 研究で得られる成果は、地域に還元し、安心して暮らせる社会の構築を目指す。 ・研究テーマ「府北部地域における周産期医療の充実に向けて」 3. 医師・医学生研修支援事業費 200千円 (1) 京都府立医科大学の5年生を対象とした、地域の医療機関での研修（臨床実習課程）において、研修先医療機関と連携し、この研修の充実が図られるよう各種支援を行い、将来の医師確保につなげる。 (2) 京都府及び京都府立医科大学が実施する、在宅医療を目指す勤務医師（40～50代）を対象とした在宅医療対応研修プログラムの参加者（市内の医療機関での研修）への支援を連携して行い、市内での定着につなげる。				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	6,500	きょうと地域連携交付金(1/2)		76
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	15,700			
担当課		地域医療	課	課長名	松本 真俊
				内線番号	2467

令和3年度 主な事務事業調

No. 72

事業名	病院事業会計補助金					
費目	款	衛生費	項	医療対策費	目	病院費
事業費	225,900 千円			予算書	172 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	市内各公的病院が医療機能の充実を図り、互いの連携体制を強化する中で、慢性期医療を担う市民病院及び地域唯一の医療機関である加佐診療所の経営を支援することにより、地域医療の充実・確保に努める。
事業の内容	1. 病院事業会計補助金（病院分） 182,328千円 市民病院の運営に要する経費、企業債元利償還金に対する支援。 2. 病院事業会計補助金（診療所分） 43,572千円 加佐診療所の運営に要する経費の一部に対する支援。

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	225,900		

担当課	財政課	課長名	芦田 みゆき	内線番号	1380
-----	-----	-----	--------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 73

事業名	JMU関連事業所支援事業費					
費目	款	労働費	項	労働諸費	目	労働諸費
事業費	700 千円			予算書	174 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	JMU舞鶴事業所の商船部門撤退に伴い、今後、商船建造に関わる業務が減少するJMU構内協力会社をはじめとする関連会社に対し、他業務へ転換するために必要な資格取得等の経費について支援することで、雇用の維持と市内経済の安定を図る。
-------	--

事業の内容	他業務へ転換するために必要な資格取得に係る経費の補助 ・対象となる経費：資格取得の試験・講習料 (例) ・TIG溶接資格(※) 他 ※ ステンレスや非鉄金属(アルミニウムなど)の溶接に採用される電気溶接の工法 ・補助率：3/4ほか
-------	---

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	350	地方創生推進交付金(1/2)	66
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	350		

担当課	産業創造・雇用促進 課	課長名	松岡 幸治	内線番号	1212
-----	-------------	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 74

事業名	地元就職・転職支援事業費					
費目	款	労働費	項	労働諸費	目	労働諸費
事業費	1,460 千円			予算書	174 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	新型コロナウイルス感染症の影響により本市においても有効求人倍率が減少している中、市民（一般、学生）や移住希望者等の舞鶴での就職を促進するため、市内事業所の就職フェアを開催するとともに、市外に転出している大学生等と市内在住の親（家族）の双方に対し、地元就職に繋がる情報を提供し就職フェア等へ参加を促すことで、若年層の地元就職を実現し、まちの安定的発展を目指す。				
	① 年3回の就職フェア（まいづる夏の就職フェア、舞鶴市・高浜町・おおい町合同就職フェア、春のまいづる就職フェア）の開催 ② 「京都府北部7市町合同就職面接会」への参加 ③ 就職フェアにおいて、インターシップ説明会を同時開催 ④ 「企業採用担当者のための採用力アップセミナー」の開催				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）		予算書
	国支出金	730	地方創生推進交付金（1/2）		66
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	730			
担当課 産業創造・雇用促進 課			課長名 松岡 幸治		内線番号 1212

令和3年度 主な事務事業調

No. 75

事業名	農業公園等施設整備事業費					
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費	6,000 千円			予算書	176 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	農業公園舞鶴ふるるファームの正面入口看板の損傷が激しいことから新たに看板を更新し、施設のホスピタリティ向上を図る。 また、平成13年から農林業の体験実習や農村生活を通じた住民との交流等のための施設として入居者を受け入れてきた滞在型農林業体験実習施設（トレーラーハウス）については、経年劣化のため除却する。				
事業の内容	1. 農業公園施設整備事業 2,500千円 ふるるファーム木製看板更新 ※森林環境譲与税対象事業（No.87参照） 2. 滞在型農林業体験実習施設除却経費 3,500千円 トレーラーハウス「あかいわ」（西方寺平地区）除却				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	6,000			
担当課		農林課	課長名	坂根 久喜	内線番号 1240

令和3年度 主な事務事業調

No. 76

事業名	農村移住・交流促進事業費					
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費	14,674 千円			予算書	176	頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	農村地域では高齢化・人口減少によって自治会活動等の地域活動に支障が生じてきていることから、地域の担い手等の確保及び農村の活性化を図るため、空き家の提供の推進や地域での受け入れを支援するとともに、体験を通じた田舎暮らし希望者との交流や田舎の魅力を発信し、農村地域への移住・定住を推進する。				
事業の内容	1. 移住促進住宅(空き家提供住宅)改修等補助 14,570千円 【補助対象】 移住促進特別区域(加佐地区、大浦地区、池内地区)内の空き家であること ○移住者等への助成(住宅改修費) ・新規登録で入居された空き家1戸当たり @1,800千円(上限) ○空き家提供者への助成(空き家を提供するための準備経費) ・新規登録で入居された空き家1戸当たり @100千円 ○地域受入団体への助成(空き家提供者への働きかけや移住者が地域に溶け込むための支援経費) ・空き家への入居受け入れ毎に @10千円 ○移住者起業支援 ・移住者が店舗や事務所を開設し起業するための施設改修費助成(補助率2/3 補助額上限3,000千円) ほか 2. 田舎の魅力体感推進事業 104千円 ○都市部で開催する移住等のセミナーにおいて、地域の魅力や移住定住、新規就農、起業のための情報を発信する。				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	52	地方創生推進交付金(1/2)		66
	府支出金	7,200	京都移住促進事業費補助金(1/2)		78
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	7,422			
担当課	農林課		課長名	坂根 久喜	内線番号 1240

令和3年度 主な事務事業調

No. 77

事業名	万願寺甘とう振興事業費					
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費	16,142 千円			予算書	178 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的

京都府で初めて地理的表示（G I）保護制度に登録された『万願寺甘とう』のさらなる安定供給と消費拡大をはかり、本市農業者の農業経営の基盤となるため、生産と消費の両面から支援を行なう。
また、万願寺甘とうの特徴や低農薬等の安心・安全へのこだわり等をP R し、農産物の付加価値の向上を図る。

事業の内容

■「万願寺甘とう」の生産拡大を図るための施設等の整備

○パイプハウス整備支援 1 2, 0 0 0千円
 予定施設：8棟
 補助率：5／10

○生産・流通改善整備支援 3, 4 2 0千円
 予定設備：養液栽培システム 9 0 0千円
 堆肥散布機 9 4 5千円
 暖房機器 1, 5 7 5千円
 補助率：4. 5／10

■プロモーション活動経費 7 2 2千円
 ・京野菜「万願寺甘とう」広報メディアの活用等

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国 支 出 金	361	地方創生推進交付金(1/2)	66
	府 支 出 金	15, 420	京野菜等生産加速化事業費補助金(4. 5/10・5/10)	78
	地 方 債	-		
	そ の 他	361	ふるさと応援寄附金	90
	一 般 財 源	-		

担当課	農 林 課	課長名	坂根 久喜	内線番号	1240
-----	-------	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 78

事業名	茶業振興対策事業費					
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費	3,550 千円			予算書	178	頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	舞鶴産のお茶は、全国茶品評会「かぶせ茶の部」において、平成24年から5年連続、また令和元年度にも産地賞を受賞している。京都宇治茶の原料生産地としてのポジションを維持しつつ、良質なお茶の産地としての認知度・ブランド力の向上を目指す。				
	【舞鶴産のお茶PR事業】 ■市広報板PR広告 50千円 【茶業振興事業】 3,500千円 事業主体：舞鶴茶生産組合 ■茶園の新植・改植 実施面積：30a 650千円 補助率：4/10 ■共同製茶等省力化推進事業 乗用茶刈機 2,400千円 補助率：4/10 ■全国茶品評会出品奨励金 出品茶1点につき30千円を交付 30千円×15点＝ 450千円				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	3,050	茶業振興対策事業費補助金(4/10)		78
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	500			
担当課		農林課	課長名	坂根 久喜	内線番号 1240

令和3年度 主な事務事業調

No. 79

事業名	新集落営農総合対策事業費補助金					
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費	3,825 千円			予算書	178 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	集落や地域を単位とした営農組織等が、経営基盤強化のために実施する規模拡大や経営の多角化等の取組を支援する。			
事業の内容	■新集落営農総合対策事業費補助金 3, 8 2 5 千円			
	○内容			
	・加工処理施設兼飲食スペース改修費（既存建築物の改修） 3, 1 5 0 千円			
	・機械導入経費 （自動式餅つき機・米パン製造機） 5 2 5 千円			
	・新商品の開発、販路開拓 1 5 0 千円 補助率：1／2			
財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称（ 補 助 率 等 ）	予算書
	国 支 出 金	-		
	府 支 出 金	3, 825	新集落営農総合対策事業費補助金(1/2)	78
	地 方 債	-		
	そ の 他	-		
	一 般 財 源	-		
担当課 農 林 課		課長名 坂根 久喜	内線番号 1240	

令和3年度 主な事務事業調

No. 80

事業名	食の京都TABLE整備支援事業費補助金					
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費	665 千円			予算書	178 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	府内農林水産物直売所や卸売市場等を「食の京都」の情報発信と交流の拠点「食の京都TABLE」として、整備・ネットワーク化を図り、「食」を通じた地域食材の物流機能や人流(誘客)を促進する。				
事業の内容	■多世代交流施設「まなびあむ」1階 農産物直売所の設備整備 ○内容 冷蔵ショーケース整備支援 665千円 事業主体：京都にのくに農業協同組合 補助率：1／2				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	665	食の京都TABLE整備支援事業費補助金(1/2)		78
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	-			
担当課		農林課	課長名		内線番号
			坂根 久喜		1240

令和3年度 主な事務事業調

No. 81

事業名	園芸施設栽培振興事業費補助金					
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費	7,605 千円			予算書	178 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	収益性や付加価値の高いハウス園芸作物の生産により、経営規模の拡大・経営の安定化を目指す生産者等に対し、施設整備を支援し、農業経営の強化を図る。				
事業の内容	■園芸施設栽培振興事業費補助金 「園芸作物」の経営の安定化を図るための施設等の整備 ○内容 パイプハウス整備支援 7,605千円 栽培作物：花苗、鉢花、野菜苗 等 予定棟数：5棟 補助率：4.5/10				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	7,605	京野菜等生産加速化事業費補助金(4.5/10)		78
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	-			
担当課	農林課		課長名	坂根 久喜	内線番号 1240

令和3年度 主な事務事業調

No. 82

事業名	基盤整備促進事業費					
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農地費
事業費	31,800 千円			予算書	180 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	ほ場整備（区画整理）を実施することにより、営農労力の省力化、効率化、生産性の向上による農業経営基盤の確立を図るとともに、当該事業の実施により認定農業者等への農地集積を図る。				
	○農地中間管理機構関連農地整備事業 ※強力に農地集積と農業競争力の強化を図るため、全ての農地を農地中間管理機構に預け、80%以上を認定農業者・法人に貸し付けるとともに、販売額を20%以上向上するなどの条件のもと、国が地元負担分の補助率を引き上げ実施する事業。				
事業の内容	・朝来中地区 換地原案作成業務 2,000千円（府営事業を受託） ※本年度から区画整理工事に着手（府直営） ・泉源寺地区 換地等調整業務 2,800千円（市営事業） 事業計画策定 16,000千円（府営事業を受託）				
	○農業競争力強化農地整備事業 ※ほ場整備を実施することにより、生産性向上による農業経営基盤の確立を図る事業。事業実施段階での地元負担は生じるが農地集積等要件を満たせば集積促進費が交付される。（実質的な地元負担は生じない。） ・女布地区 ※事業予定地での遺跡調査（府直営） ・蒲江・油江地区 事業計画策定 11,000千円（府営事業を受託） ■上記及び府実施事業に係る市負担分 ⇒府営土地改良事業費負担金（9,550千円）別途計上				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	31,310	農地中間管理機構関連農地整備事業費補助金（82.5/100）、府営土地改良事業委託金		78・84
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	490			
担当課		農林課	課長名	坂根 久喜	内線番号 1240

令和3年度 主な事務事業調

No. 83

事業名	農村地域防災減災事業費					
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農地費
事業費	41,800 千円			予算書	180 頁	
				事業区分	新規・拡大 <u>継続</u>	

事業の目的

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容

事業の内容</

令和3年度 主な事務事業調

No. 84

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業費					
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農地費
事業費	4,264 千円			予算書	180 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	農業用施設の機能を効率的、経済的に維持するため、地元と国・府・市等関係機関が連携して資金造成（5年間）を行い、施設の有効活用、長寿命化とともに、効率的な更新整備や保全管理の充実を図る。				
事業の内容	地区名 西方寺地区 全体事業費 4,264 千円 工事費 4,000 千円 積立費等 264 千円 事業内容 ファブリダム（ゴム堰） 用水機械設備整備 一式 資金積立期間 平成29年度～令和3年度 事業実施年度 令和3年度 負担割合 国 30% 府 30% 市 20% 地元 20% 資金積立先 全国土地改良事業団体連合会				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	3,944	土地改良施設維持管理適正化事業費分担金 雑入（土地改良施設維持管理適正化事業交付金）		52・102
	一般財源	320			
担当課		農 林 課	課長名	坂根 久喜	内線 番号 1240

令和3年度 主な事務事業調

No. 85

事業名	有害鳥獣被害防止対策事業費					
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費
事業費	61,471 千円			予算書	182	頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	捕獲に対する報償、担い手の育成、処理施設の円滑な運用等による捕獲の推進と有害鳥獣被害防止対策協議会による侵入防止柵の設置等によって防除を推進し被害の低減を図る。					
事業の内容	1. 猟友会及び捕獲従事者育成支援事業 (2,586千円) ・猟友会の有害鳥獣捕獲活動に係るハンター保険・自動車保険の支援 ・狩猟者の担い手確保対策経費(狩猟登録及び猟銃等購入経費の支援) 2. 捕獲事業・捕獲活動事業 (57,132千円) ・猟友会の有害鳥獣捕獲に対する出動・捕獲報償費 52,692千円 ※森林保護のため、狩猟期のシカ捕獲報償費に森林環境譲与税を3,000千円充当(No.86参照) ・有害鳥獣駆除期間中の連絡調整や捕獲確認の立会等の経費 4,440千円 3. サル被害防止対策 (614千円) ・餌付けによる捕獲、追払い用火火支給による地域支援経費 4. 有害鳥獣被害防止対策協議会負担金 (145千円) 舞鶴市有害鳥獣被害防止対策協議会(関係機関や学識経験者で組織)の運営費負担金 5. 中丹地域有害鳥獣処理施設一時保管庫管理経費 (894千円) 6. 鳥獣撃退用具購入に対する支援 (100千円)					

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	22,363	野生鳥獣被害総合対策事業費補助金(1/2・定額)	78
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	39,108		

担当課	農林課	課長名	坂根 久喜	内線番号	1240
-----	-----	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 86

事業名	森林経営管理推進経費					
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費
事業費	22,012 千円			予算書	182 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	新たな森林経営管理制度において、林業施業地集積に取り組む地域に対し、集約化の前提となる意向調査や境界明確化を実施し、林業施業の促進を図ることで、地球温暖化対策や水源涵養などの森林の多面的機能の維持・森林資源の活用の推進を図る。				
事業の内容	1. 林業施業地集積に対する意向がまとまっている地域において境界明確化のための測量の実施。 2. 施業地所有者に対する意向調査の実施。 ※森林整備や木材利用促進などのために国から譲与される森林環境譲与税（財源区分は一般財源）を財源として実施する事業。 （歳入予算は予算書24頁を参照。） （参考）森林環境譲与税対象事業 33,300千円 内訳 森林経営管理推進経費 22,000千円 木質バイオマス活用促進事業費補助金のうち 針葉樹残材搬出支援 3,000千円 (No. 88) 有害鳥獣被害防止対策事業費（シカ捕獲報償費） 3,000千円 (No. 85) 農業公園等施設整備事業費（木製看板更新） 2,500千円 (No. 75) まなびあむスタートアップ事業費（木製備品購入） 1,280千円 (No. 6) 保育所管理運営経費（木製備品購入） 700千円 認定こども園管理運営経費（木製備品購入） 300千円 道普請推進経費（支給用木材購入） 220千円 公園緑地整備事業費（木柵材料購入） 300千円				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書	
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	12	豊かな森を育てる基金利子	86	
	一般財源	22,000			
担当課	農林課		課長名	坂根 久喜	内線番号 1240

令和3年度 主な事務事業調

No. 87

事業名	災害に強い森づくり事業費					
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費
事業費	30,400 千円			予算書	182	頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	平成30年7月の豪雨災害により荒廃した森林及び溪流において、土砂、流木等の流出による再度被害を防止するため治山施設の設置を行う。				
事業の内容	○災害に強い森づくり事業 30,400千円 規模の大きな治山事業について府の委託事業により、治山施設を設置し荒廃した森林及び溪流の整備を実施する。 ・施工箇所（1箇所）布敷地区 治山ダム工 1式 ※全体計画（令和2年～4年）総事業費 63,000千円 令和2年 測量設計 1式 4,000千円 3年 治山ダム工 1式 30,400千円 4年 流路工 100m、森林整備 1式 28,600千円				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	30,400	災害に強い森づくり事業委託金		84
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	-			
担当課		農林課	課長名	坂根 久喜	内線番号 1240

令和3年度 主な事務事業調

No. 88

事業名	木質バイオマス活用促進事業費補助金					
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費
事業費	3,900 千円			予算書	184	頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	間伐等の森林整備の際に生じる小径木や広葉樹など、従来は未利用となっていた木材の搬出を促進することにより、豪雨時の流木被害の軽減や水源涵養機能の回復など、安心安全のまちづくりを促進するとともに、森林資源の活用を推進する。				
事業の内容	○針葉樹残材の搬出支援 3,000千円 800トン/年 @3,750円/トン ※財源：森林環境譲与税（財源区分は一般財源） ○林地残材（広葉樹）の搬出支援 900千円 300トン/年 @3,000円/トン ※財源：豊かな森を育てる基金（府民税交付金分）繰入金				

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	900	豊かな森を育てる基金（府民税交付金分）繰入金	92
	一般財源	3,000		

担当課	農林課	課長名	坂根 久喜	内線番号	1240
-----	-----	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 89

事業名	林道改良事業費					
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目	林道管理費
事業費	22,000 千円			予算書	184 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	林道上漆原線においては、路面が急勾配のため豪雨時のたびに洗掘が生じており、日常管理に多大な経費を要する状態となっている。 利用者の安全確保と維持管理費を軽減するため、道路面の改良を行う。				
事業の内容	路線名 林道上漆原線 林道路面改良 L = 400m 事業費 22,000千円				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	22,000	辺地債		104
	その他	-			
	一般財源	-			
担当課		農 林 課	課長名		坂根 久喜
			内線番号		1240

令和3年度 主な事務事業調

No. 90

事業名	漁業担い手育成支援事業費					
費目	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費
事業費	3,460 千円			予算書	186	頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	新たな漁業の担い手の確保や活力ある漁業や漁村を実現するため、若手・中堅漁業者の育成、新規漁業者の漁船等の取得、更には漁村における就業、定住を支援する。			
事業内容	○「海の民学舎」運営協議会負担金495千円 ○漁船等リース事業費補助金1,000千円 漁船1隻 補助率：1／3以内 ○漁村移住者受入促進事業費補助金1,935千円 ・移住者への助成（空家改修費）1,800千円 〃（空家購入等資金金利補助）25千円 ・空き家提供者への助成100千円 ・受入自治会への助成10千円 ○水産技術研修事業費補助金30千円 京都府漁業士会の活動経費への助成 補助率：1／2以内			
財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称（ 補 助 率 等 ）	予算書
	国 支 出 金	500	地方創生推進交付金（1/2）	66
	府 支 出 金	962	京都移住促進事業費補助金（1/2）	80
	地 方 債	-		
	そ の 他	-		
	一 般 財 源	1,998		
担当課 水 産 課		課長名 中井 哲也		内線番号 1210

令和3年度 主な事務事業調

No. 91

事業名	漁港海岸保全対策事業費					
費目	款	農林水産業費	項	水産業費	目	漁港管理費
事業費	92,457 千円			予算書	188	頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	舞鶴市管理の海岸において、台風や冬季風浪による波浪から海岸を防護し、越波による砂浜の侵食や背後住家を保全する。 また、海岸や漁港に漂流・漂着するごみの回収・処分を行い、海洋環境や優れた景観を維持・保全することによって、観光や漁業など海岸・漁港の利用者に快適な環境を提供する。			
事業の内容	○竜宮浜漁港海岸保全対策事業 86,657千円 ・三浜地区：2号離岸堤の嵩上げ L=35m 消波ブロックの製作・設置 ・小橋地区：かごマットの製作設置他 L=8m ○海岸漂着物の回収・処分 5,800千円 ・漁港海岸(野原、竜宮浜、瀬崎)及び漁港の漂流・漂着ごみの回収・処分			
財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国 支 出 金	40,000	農山漁村地域整備交付金(1/2)	66
	府 支 出 金	17,183	海岸保全施設整備事業費補助金(1/6) 海岸漂着物等地域対策推進事業補助金(7/10)	80
	地 方 債	27,600	水産業債	104
	そ の 他	2,592	海岸保全施設整備事業費分担金	52
	一 般 財 源	5,082		
担当課 水 産 課		課長名 中井 哲也		内線番号 1210

令和3年度 主な事務事業調

No. 92

事業名	舞鶴漁港整備事業費負担金					
費目	款	農林水産業費	項	水産業費	目	漁港管理費
事業費	32,000 千円			予算書	188 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	京都府が事業主体として行う舞鶴漁港の伊佐津川河口に堆積した土砂の撤去により、漁港機能の低下を防止するとともに、長寿命化並びに更新コストの平準化や縮減を目的とした整備事業について、舞鶴市が事業費の一部を負担し、京都府との連携のもと事業の促進を図る。				
事業の内容	○舞鶴漁港整備事業費負担金（負担率20%） ・漁港機能保全事業 160,000千円 - 伊佐津川泊地 浚渫工事				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	28,800	水産業債		104
	その他	-			
	一般財源	3,200			
担当課	水産課		課長名	中井 哲也	内線番号 1210

令和3年度 主な事務事業調

No. 93

事業名	みなとオアシス登録推進事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費
事業費	1,320 千円			予算書	190 頁	
				事業区分	(新規)・拡大・継続	

事業の目的	「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、令和3年度末を目標として京都舞鶴港の「みなとオアシス」登録を目指し、賑わいの創出に係る検討や課題の抽出を進める。 【みなとオアシス】 地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくり促進のため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設（海浜・旅客ターミナル・広場など）として、国土交通省港湾局長から認定された交流拠点				
	・市内の関係団体で構成する「みなとオアシス連絡会議」の開催や、コーディネーターを招聘し「みなと」を核としたまちづくりに向けた検討 ・他港の「みなとオアシス」現地視察 ・「みなと」の賑わい創出に関するシンポジウム開催 ・京都舞鶴港の「みなとオアシス」登録を周知するための広報活動 ・「みなとオアシス」における賑わい創出に向けた実証実験				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	500	きょうと地域連携交付金(1/2)		80
	地方債	-			
	その他	200	雑入(日本海にぎわい・交流海道ネットワーク活動支援費)		102
	一般財源	620			
担当課			課長名		内線番号
みなと振興・国際交流 課			小島 宏		1250

令和3年度 主な事務事業調

No. 94

事業名	未来にはばたけ！頑張る事業者応援プロジェクト事業費				
費目	款	商工費	項	商工費	目 商工振興費
事業費	23,500 千円			予算書	190 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的
 ビヨンド・コロナ社会を見据えた地域経済の活性化を図るため、舞鶴商工会議所、地元金融機関、関係団体と連携し、創業、事業拡大、事業継承といった事業者の各ステージに対応した支援を行うことで、頑張る事業者の育成を図るとともに、地域の特色を活かした東西まちなかの活性化を支援する。

事業の内容
 <事業内容>
 1. 創業応援事業、市内事業者育成・支援事業
 ビヨンド・コロナ時代を生き残ることができる事業者の育成のため、創業を目指す人を対象とした創業交流カフェや起業ノウハウを習得するセミナー、経営戦略セミナー等を開催
 2. 地域課題解決型ビジネスモデル支援補助金
 自社発展のみならず、地域経済への好波及を条件に、ビヨンド・コロナを見据えた社会的変化に対応した新事業や、地域課題解決につながる新事業を展開する事業者への支援
 ○補助率：2/3
 ○補助額：重点課題枠（コロナ） 300万円×3件
 課題解決枠 300万円×2件
 3. まちなかエリア活性化補助金
 まち全体の魅力アップにつながることを条件に、まちなかエリアの空店舗等を活用したサテライトオフィスやギャラリー、アートスペース、ワーケーション拠点等を出店する事業者を支援
 ○補助率：2/3
 ○補助額：上限100万円×5件

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	7,250	地方創生推進交付金(1/2)	66
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	16,250		

担当課	産業創造・雇用促進 課	課長名	松岡 幸治	内線番号	1212
-----	-------------	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 95

事業名	企業誘致実現プロジェクト事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費
事業費	43,377 千円			予算書	190 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	本市の地域経済の活性化を図るため、新規誘致とともに、既存の市内立地企業の新增設など発展的な事業を積極的に支援する。			
事業の内容	①働く場の創出企業立地促進補助（16,000千円） 働く場の創出補助金 5件 ②企業立地経営円滑化補助（25,080千円） 大口水道使用企業に対する水道料金の一部補助 4件 ③企業誘致推進対策事業（2,297千円） 新たな企業誘致のための情報収集、個別企業訪問の推進 等			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	900	地方創生推進交付金（1/2）	66
	府支出金	12,500	きょうと地域連携交付金（1/2）	80
	地方債	-		
	その他	11,000	電源立地地域対策基金繰入金	92
	一般財源	18,977		
担当課 産業創造・雇用促進 課		課長名 松岡 幸治		内線番号 1212

令和3年度 主な事務事業調

No. 96

事業名	国際交流活動推進費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	貿易振興費
事業費	14,898 千円			予算書	192 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	姉妹・友好都市であるロシア・ナホトカ市、中国・大連市、英国・ポーツマス市をはじめ、東アジア諸都市との、みなと・観光・文化・産業など幅広い分野において、実り多い交流となるよう戦略的に施策を進める。				
事業の内容	1. 国際交流員の配置 2. 大連市との青少年交流 3. 浦項市との青少年交流 4. ポーツマス市訪問青少年英語研修 5. 各種代表団の派遣・受入 6. 国際交流活動年次報告書の発行				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	14,898			
担当課			課長名		内線番号
みなと振興・国際交流 課			小島 宏		1250

令和3年度 主な事務事業調

No. 97

事業名	ウズベキスタン人材育成支援事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	貿易振興費
事業費	1,290 千円			予算書	192 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的
2020東京五輪ホストタウン交流を契機として、ウズベキスタン共和国リシタン地方との間で交わした人材育成交流に関する覚書に基づき、産業技術の習得を目的にポリテクカレッジ京都へ入校する者、介護福祉の即戦力として特定技能（介護）資格により市内介護施設で就労する者に対し、渡航費や生活費の一部を助成して経済的負担を軽減することにより、優秀な外国人材の市内就労・定住を促すとともに、ウズベキスタンの人材育成に協力する。

- 事業の内容
- 産業人材育成支援
対象者：ポリテクカレッジ京都入校者
支援内容：来日渡航費及び入学支度金（15万円）の支給
生活費（1.5万円／月）の支給
 - 介護人材育成支援
対象者：市内介護施設就労者
支援内容：来日渡航費及び就職支度金（15万円）の支給

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	1,290	ふるさと応援基金繰入金	92
	一般財源	-		

担当課 みなと振興・国際交流課
福祉企画課

課長名 小島 宏
新谷 寿美子

内線 1250
番号 2290

事業名	京都舞鶴港日本海側拠点機能推進事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	貿易振興費
事業費	27,544 千円			予算書	192 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	日本海側拠点港としての機能である国際海上コンテナ、国際フェリー・国際RORO船、外航クルーズについて、目標の早期実現に向け、国・府・近隣市や関係団体等と連携し、名実ともに京都舞鶴港が日本海側の拠点港として確立されるよう、利用促進に取り組む。				
事業の内容	◆国際フェリー航路の活性化 ・日韓露を結ぶ国際フェリー航路のPR活動 ◆国際クルーズの誘致 ・小樽港、伏木富山港、境港、秋田港との連携による「環日本海クルーズ推進協議会」への参画 ・「京都舞鶴港クルーズ誘致協議会」によるクルーズ船の誘致 ・旅行社等と連携した寄港地観光ルートの開発				

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	27,544		

担当課	みなと振興・国際交流 課	課長名	小島 宏	内線番号	1250
-----	--------------	-----	------	------	------

事業名	京都舞鶴港振興会等補助金					
費目	款	商工費	項	商工費	目	貿易振興費
事業費	64,028 千円			予算書	192 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	京都舞鶴港は関西経済圏における日本海側の物流拠点であり、昨年から週4便体制となったコンテナ定期航路の利便性向上、関西経済圏におけるBCP（事業継続計画）やリダンダンシーとしての重要性を積極的にPRし、東アジア諸国等との経済交流による創貨活動など、総合的な貿易振興策を講じる。
事業の内容	京都舞鶴港の一層の貿易振興を図るため、航路の活性化や集荷対策等を積極的に推進する。 ・コンテナ定期航路利用要請等のポートセールス ・セミナー開催や展示会出展等のPR活動 ・貿易情報の収集及び調査 ・東アジア諸国等との友好・経済交流の促進 ・航路の拡充およびトライアル利用の促進 ・コンテナ貨物等に対するインセンティブ補助 ・日本港湾振興団体連合会総会の開催

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	64,028		
担当課 みなと振興・国際交流 課			課長名 小島 宏	内線番号 1250

令和3年度 主な事務事業調

No. 100

事業名	道路除雪対策事業費					
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路維持費
事業費	82,709 千円			予算書	198 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	「舞鶴市道路除雪計画」に基づき、バス路線や幹線道路等の除雪及び凍結防止剤の散布を実施し、冬季における安全で円滑な交通の確保を図る。				
事業の内容	【対象地域】 市内全域 ○除雪作業 ・大型除雪機によるバス路線を中心とした幹線市道等の除雪業務委託 ・小型除雪機の配備による周辺部の生活道路の除雪作業支援 ○凍結防止剤散布 ・凍結防止剤散布機による凍結防止業務委託 ○除雪機更新 ・大型除雪機 2台 (8t車) ・小型除雪機 5台 (トラクター式)				

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	19,279	社会資本整備総合交付金(2/3) 除雪作業事務委託金	66・70
	府支出金	-		
	地方債	32,800	道路橋りょう債、辺地債	104
	その他	468	雑入(除雪機賃料)	102
	一般財源	30,162		

担当課	土木課	課長名	田中 洋	内線番号	2350
-----	-----	-----	------	------	------

事業名	交通安全推進事業費					
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費
事業費	26,800 千円			予算書	200 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	子供、高齢者などの交通弱者や自転車が、安全で安心して通行できる道路整備を進め、快適で安全・安心なまちづくりを推進する。
事業の内容	○歩道の整備や交差点改良等を推進 [対象路線] ・丸山通線（丸山口町） 歩道整備 ○ゾーン30など面的な交通安全対策の実施 [対象地区] ・桃山地区 速度抑制対策の実施 ○ガードレール、区画線、道路照明など道路安全施設を設置 ・市内全域

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	8,800	社会資本整備総合交付金（5.5/10） 交通安全対策補助金（5.5/10）	66
	府支出金	-		
	地方債	8,000	道路橋りょう債	104
	その他	-		
	一般財源	10,000		

担当課	土木課	課長名	田中 洋	内線番号	2350
-----	-----	-----	------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 102

事業名	幹線道路整備事業費				
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目 道路新設改良費
事業費	408,260 千円			予算書	200 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	国道や府道を補完する幹線市道の整備を進め、本市の経済の活性化及び交通の円滑化と安全性の向上を図る。			
事業の内容	[対象路線] ・和泉通線（森本町） 拡幅改良 ・引土境谷線（伊佐津、境谷） 拡幅改良			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	207,560	社会資本整備総合交付金（1/2、5.5/10）	66
	府支出金	-		
	地方債	171,500	道路橋りょう債	104
	その他	29,000	都市開発推進基金繰入金	92
	一般財源	200		
担当課		土木課	課長名	田中 洋
			内線番号	2350

令和3年度 主な事務事業調

No. 103

事業名	地域間連絡道路整備事業費					
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費
事業費	45,000 千円			予算書	200 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	周辺地域と市街地等を結ぶ道路の整備を推進し、地域の振興や、定住環境の向上を図る。				
	[対象路線] ・別所岸谷線（別所～岸谷） 法面对策他 ・白滝線（白滝） 部分拡幅				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	45,000	辺地債		104
	その他	-			
	一般財源	-			
担当課		土木課	課長名		田中 洋
			内線番号		2350

令和3年度 主な事務事業調

No. 104

事業名	防衛施設周辺整備事業費				
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目 道路新設改良費
事業費	5,000 千円			予算書	200 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	防衛省の交付金を活用して、歩道整備を行い、安全、安心に暮らせるまちづくりを推進する。			
事業の内容	[対象路線] ・男子校下通線（余部上） 歩道改良			

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	3,000	特定防衛施設周辺整備調整交付金（定額）	66
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	2,000		
担当課		土木課	課長名	田中 洋
			内線番号	2350

令和3年度 主な事務事業調

No. 105

事業名	道路施設長寿命化事業費					
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費
事業費	28,400 千円			予算書	200 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	道路施設の長寿命化修繕計画に基づく点検や修繕工事を実施し、将来にわたるトータルコストの縮減や平準化を図る。			
事業の内容	○トンネル長寿命化修繕計画による修繕 道芝トンネル剥落対策工事 ○舗装修繕 ・潮路通線（浜） ・三笠通線（浜町）			

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	4,400	道路メンテナンス事業補助金（5.5/10）	66
	府支出金	-		
	地方債	24,000	道路橋りょう債	104
	その他	-		
	一般財源	-		

担当課	土木課	課長名	田中 洋	内線番号	2350
-----	-----	-----	------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 106

事業名	橋りょう長寿命化事業費					
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	橋りょう費
事業費	169,000 千円			予算書	200 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	橋りょう長寿命化修繕計画に基づく点検や修繕工事を実施し、将来にわたるトータルコストの縮減や平準化を図る。
事業の内容	○橋りょう長寿命化修繕計画に基づく点検及び修繕 (点検) 197橋 (修繕) 舞鶴クレインブリッジ(平)、浪速橋(溝尻)、新川橋(浜) 他 ○舞鶴高専との共同研究等

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	85,250	道路メンテナンス事業補助金(5.5/10)	66
	府支出金	-		
	地方債	54,000	道路橋りょう債	104
	その他	11,000	都市開発推進基金繰入金 市道管理基金繰入金	92
	一般財源	18,750		

担当課	土木課	課長名	田中 洋	内線番号	2350
-----	-----	-----	------	------	------

事業名	<概要版>東西市街地の浸水対策事業について		
費目	一般会計（土木費）及び下水道事業会計		
事業費	1,028,450 千円	予算書	— 頁
		事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	東西市街地の浸水対策事業として、浸水被害の軽減を図る事を目的に、総合的な治水対策を実施し、安全・安心なまちづくりを推進する。		
	《雨水処理対策：下水道事業会計1,015,000千円》No.138		
事業の内容	◆西地区浸水対策事業 京都府の高野川整備事業と連携し、内水排除ポンプを整備し浸水被害の軽減を図る。 ◆東地区浸水対策事業 令和2年度に策定した雨水管理総合計画を踏まえ、浸水被害が多い区域の基本設計を実施する。		
	《市街地浸水対策：一般会計13,450千円》No.108		
事業の内容	◆逆流防止施設設置工事 市街地内への外水浸入を防ぐため、河川・水路等にある排水口に逆流防止弁を設置する。 ◆宅地嵩上げ助成制度 新たに東市街地を追加し、東西市街地（浸水エリア）において、住宅等の地盤の嵩上げを行う者に対して、その費用の一部を助成することで、浸水被害の軽減を図り、安全・安心で災害に強いまちづくりを推進する。 ◆雨水貯留施設（マイクロ呑龍）補助制度 西浸水対策事業区域において、個人で設置する雨水貯留施設費用の一部を補助する。 ◆逆流防止施設等保守 西浸水対策事業区域において設置した逆流防止施設及び水位計の保守等を行う。 ◆排水ポンプ車維持管理 排水作業に備えて、市所有の排水ポンプ車の維持管理を行う。		
担当課	下水道整備課	課長名	大草 修 東山 直 (浸水対策担当) 田中 洋
	土木		2220 内線 2231 番号 2350

令和3年度 主な事務事業調

No. 108

事業名	浸水対策事業費					
費目	款	土木費	項	河川費	目	河川総務費
事業費	13,450 千円			予算書	202 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	市街地の浸水対策事業として、浸水被害の軽減を図る事を目的に総合的な治水対策を実施し、安全・安心なまちづくりを推進する。
事業の内容	◆逆流防止施設設置工事 市街地内への外水浸入を防ぐため、河川・水路等にある排水口に逆流防止弁を設置する。 ◆宅地嵩上げ助成制度 新たに東市街地を追加し、東西市街地（浸水エリア）において、住宅等の地盤の嵩上げを行う者に対して、その費用の一部を助成することにより、浸水被害の軽減を図り、安全・安心で災害に強いまちづくりを推進する。 ◆雨水貯留施設（マイクロ呑龍）補助制度 西浸水対策事業区域において、個人で設置する雨水貯留施設費用の一部を補助することにより、雨水流出抑制と良好な水環境の再生を図る。 ◆逆流防止施設等保守 西浸水対策事業区域において設置した逆流防止施設及び水位計の保守等を行う。 ◆排水ポンプ車維持管理 排水作業に備えて、市所有の排水ポンプ車の維持管理を行う。

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	50	社会資本整備総合交付金（1/3）	66
	府支出金	1,050	きょうと地域連携交付金（1/2） 雨水貯留施設設置事業費補助金（1/3）	80
	地方債	10,000	河川債	104
	その他	-		
	一般財源	2,350		

担当課	下水道整備課	課長名	大草 修 東山 直 (浸水対策担当)	内線番号	2220 2231 2350
	土木		田中 洋		

令和3年度 主な事務事業調

No. 109

事業名	河川整備事業費					
費目	款	土木費	項	河川費	目	河川総務費
事業費	76,500 千円			予算書	202 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	浸水被害を引き起こしている箇所河川の整備及び浚渫を行い、安全で災害に強いまちづくりを推進する。				
事業の内容	[対象地域] ・福井川（上福井） 護岸改修 ・榎川（余部上） 護岸改修 ・小倉川（小倉） 浚渫 ・早稲田川（朝来） 浚渫 他				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	64,000	河川債		104
	その他	7,000	都市開発推進基金繰入金		92
	一般財源	5,500			
担当課 土木課			課長名 田中 洋	内線番号 2350	

令和3年度 主な事務事業調

No. 110

事業名	由良川水防災対策促進事業費				
費目	款	土木費	項	河川費	目 河川総務費
事業費	6,668 千円			予算書	202 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	由良川水防災事業の効果を発揮させるため、水害時の内水をスムーズに排出させるための水路整備を実施し、安全・安心な生活環境づくりを推進する。			
事業の内容	○志高排水路の整備費 地域内に発生した雨水等をスムーズに排出させるための水路整備を行う。 ・水路設置、法面保護工			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	5,000	河川債	104
	その他	-		
	一般財源	1,668		
担当課 国・府事業推進 課		課長名 白木 治彦		内線番号 3440

令和3年度 主な事務事業調

No. 111

事業名	急傾斜対策等促進事業費負担金					
費目	款	土木費	項	河川費	目	河川総務費
事業費	20,250 千円			予算書	202 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	市民の生命と財産を守るため、京都府が行う急傾斜地崩壊対策事業について、舞鶴市が事業費の一部を負担し、京都府との連携のもと、着実な事業の整備促進を図る。				
事業の内容	○急傾斜地崩壊対策等事業費負担金 [負担額] 14,250千円 [実施地区] 志高 10,000千円 (負担率10%) 大波下 1,500千円 (負担率5%) 八反田南 750千円 (負担率5%) 上安久 2,000千円 (負担率10%) ○災害関連緊急土砂対策 (急傾斜) [負担額] 6,000千円 [実施地区] 大丹生 6,000千円 (負担率20%)				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称 (補助率等)	予算書	
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	6,000	河川債	104	
	その他	-			
	一般財源	14,250			
担当課 国・府事業推進 課			課長名 白木 治彦	内線番号	3440

令和3年度 主な事務事業調

No. 112

事業名	京都舞鶴港整備事業費負担金				
費目	款	土木費	項	港湾費	目 港湾対策費
事業費	22,000 千円			予算書	204 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	京都舞鶴港の物流機能向上のため、多目的国際ターミナルとなる舞鶴国際ふ頭、臨港道路等の早期整備を国及び京都府と緊密に連携しながら促進する。
事業の内容	臨港道路和田下福井線の整備促進 ・橋梁上部工工事（輸送工、現場架設工） ・交差点部工事

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	22,000	港湾債	104
	その他	-		
	一般財源	-		

担当課	みなと振興・国際交流課	課長名	小島 宏	内線番号	1250
-----	-------------	-----	------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 113

事業名	まちづくり推進事業費				
費目	款	土木費	項	都市計画費	目 都市計画総務費
事業費	67,100 千円			予算書	206 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	歴史・景観等の地域資源を活かした魅力あるまちづくりを推進する。			
事業の内容	○まちなか活性化事業費 64,600千円 歴史のみち整備工事、田辺城趾周辺測量等業務委託ほか ○伝統的建造物群保存対策事業費 2,500千円 建物調査及び報告書作成に係る費用等			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	29,150	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(1/2) 都市構造再編集集中支援事業交付金(4.5/10)	66
	府支出金	625	京都府重要伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金(1/4)	80
	地方債	19,200	都市計画債	104
	その他	16,000	都市開発推進基金繰入金	92
	一般財源	2,125		
担当課	都市計画課		課長名	吉田 章洋
			内線番号	2320

事業名	まちなかエリア定住促進事業補助金				
費目	款	土木費	項	都市計画費	目 都市計画総務費
事業費	900 千円			予算書	206 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	まちなかへの居住を誘導するため、空き家を活用した定住を促進する。																												
事業の内容	立地適正化計画に基づく、居住誘導区域内で、空き家情報バンク制度を通じて空き家を購入もしくは賃借する者が実施する空き家住宅の改修費用に対し、その費用の一部を助成する。また、空き家情報バンク制度の空き家提供者に対して、契約成立時に家財道具等撤去費用を補助する。 1. まちなかエリア定住促進空き家再生事業（600千円） <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">補助対象者の区分</th><th colspan="2">補助率（対象は住宅改修費）</th><th>限度額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">空き家の売買又は賃貸借の契約をした時点の住所が居住誘導区域外の市内である者</td><td rowspan="2">空き家に65歳以上の者が一人以上居住する場合</td><td>購入の場合</td><td rowspan="2">2分の1以内</td><td>60万円</td></tr> <tr> <td>賃借の場合</td><td>36万円</td></tr> <tr> <td rowspan="2">上記以外の者</td><td>購入の場合</td><td rowspan="2">4分の1以内</td><td>30万円</td></tr> <tr> <td>賃借の場合</td><td>18万円</td></tr> <tr> <td rowspan="2">空き家の売買又は賃貸借の契約をした時点の住所が市外である者</td><td rowspan="2"></td><td>購入の場合</td><td rowspan="2">2分の1以内</td><td>100万円</td></tr> <tr> <td>賃借の場合</td><td>60万円</td></tr> </tbody> </table> 2. まちなかエリア定住促進空き家流動化促進補助金（300千円） 空き家提供者に対する契約成立時の補助金 1件当たり100,000円				補助対象者の区分		補助率（対象は住宅改修費）		限度額	空き家の売買又は賃貸借の契約をした時点の住所が居住誘導区域外の市内である者	空き家に65歳以上の者が一人以上居住する場合	購入の場合	2分の1以内	60万円	賃借の場合	36万円	上記以外の者	購入の場合	4分の1以内	30万円	賃借の場合	18万円	空き家の売買又は賃貸借の契約をした時点の住所が市外である者		購入の場合	2分の1以内	100万円	賃借の場合	60万円
補助対象者の区分		補助率（対象は住宅改修費）		限度額																									
空き家の売買又は賃貸借の契約をした時点の住所が居住誘導区域外の市内である者	空き家に65歳以上の者が一人以上居住する場合	購入の場合	2分の1以内	60万円																									
		賃借の場合		36万円																									
	上記以外の者	購入の場合	4分の1以内	30万円																									
		賃借の場合		18万円																									
空き家の売買又は賃貸借の契約をした時点の住所が市外である者		購入の場合	2分の1以内	100万円																									
		賃借の場合		60万円																									

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	900		
担当課	都市計画	課	課長名 吉田 章洋	内線番号 2320

令和3年度 主な事務事業調

No. 115

事業名	西舞鶴道路整備等促進事業費					
費目	款	土木費	項	都市計画費	目	街路事業費
事業費	14,472 千円			予算書	206 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	現在、国において実施されている国道27号西舞鶴道路の整備促進を図るとともに、市において関連する道路等の検討を進め、安全で円滑な道路整備による活力あるまちづくりを推進する。
事業の内容	○西舞鶴道路整備等促進事業費 ・国道27号西舞鶴道路の整備促進 ・その他国事業の促進 - 木ノ辺川河川改修工事（今田） - 天清川逆流防止施設設置工事（倉谷）

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	13,300	都市計画債	104
	その他	-		
	一般財源	1,172		

担当課	国・府事業推進課	課長名	白木 治彦	内線番号	3440
-----	----------	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 116

事業名	府道小倉西舞鶴線等改良促進事業費					
費目	款	土木費	項	都市計画費	目	街路事業費
事業費	14,512 千円			予算書	206 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	東西市街地を最短距離で結び、東西市街地の一体化による活力あるまちづくりに不可欠な府道小倉西舞鶴線について、4車線化事業を促進する。
事業の内容	○府道小倉西舞鶴線等改良促進事業費 - 倉谷工区の4車線化事業の促進 - 道路築造・舗装工事及び電線共同溝設置工事 L=320m

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	14,500	都市計画債	104
	その他	-		
	一般財源	12		

担当課	国・府事業推進課	課長名	白木 治彦	内線番号	3440
-----	----------	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 117

事業名	都市公園整備事業費					
費目	款	土木費	項	都市計画費	目	公園費
事業費	31,500 千円			予算書	208 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	市民の憩いの場である都市公園において、「舞鶴市公園施設長寿命化計画」に基づき施設の改築・更新を行うことにより、安全で安心な公園管理に努める。
事業の内容	[舞鶴市公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の改築・更新] ・舞鶴公園照明灯更新工事（南田辺） ・常公園他遊具更新工事（常新町 他）

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	15,000	社会資本整備総合交付金（1/2）	66
	府支出金	-		
	地方債	16,500	都市計画債	104
	その他	-		
	一般財源	-		

担当課	土木課	課長名	田中 洋	内線番号	2350
-----	-----	-----	------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 118

事業名	空き家対策推進事業費					
費目	款	土木費	項	住宅費	目	住宅管理費
事業費	5,010 千円			予算書	210 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	本市の空き家等の課題に総合的かつ計画的に取り組むために策定した舞鶴市空家等対策計画に基づき、老朽化が著しい空き家の解消を推進し、地域の安心・安全の確保、居住環境の保全を図る。			
事業の内容	○財産管理人による所有者不明の特定空家等の清算 3,510千円 ・相続財産管理人選任申立て手数料及び予納金 ※「相続財産管理人制度」 相続人が存在しない空き家・空き地について、利害関係人等の申立てに基づいて家庭裁判所が選任する相続財産管理人が相続財産の管理・清算を行う民法上の制度 ○空き家除却支援事業補助金 1,500千円 ・所有者による空き家の除却に対する補助 1件あたり上限300千円			
財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国支出金	750	社会資本整備総合交付金 (1/2)	66
	府支出金	-		
	地 方 債	-		
	そ の 他	-		
	一 般 財 源	4,260		
担当課 都市計画 課		課長名 吉田 章洋	内線番号 2320	

令和3年度 主な事務事業調

No. 119

事業名	公営住宅改善事業費					
費目	款	土木費	項	住宅費	目	住宅建設費
事業費	7,040 千円			予算書	210 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	第2期舞鶴市公営住宅等長寿命化計画に基づき、継続して管理する中層建物の建物躯体の長寿命化を図る。 また、建替事業を予定している団地の住民移転事業を機動的に実施し、建替規模の適正化を図る。
事業の内容	○既設公営住宅改善事業 ・外壁長寿命化工事設計（白鳥団地） ・建替予定団地（長浜団地、北浜団地）の住替先の確保 他

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	2,894	社会資本整備総合交付金（4.5/10）	66
	府支出金	-		
	地方債	3,000	住宅債	104
	その他	-		
一般財源		1,146		

担当課	都市計画課	課長名	吉田 章洋 豊田 兼也 (住宅政策担当)	内線 番号	2320 2370
-----	-------	-----	----------------------------	----------	--------------

令和3年度 主な事務事業調

No. 120

事業名	京都府中・北部地域消防指令センター整備事業費				
費目	款	消防費	項	消防費	目 消防施設費
事業費	5,707 千円			予算書	214 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	将来にわたって持続可能な消防指令体制を維持するため、国が示す「市町村の消防の連携・協力の基本指針」に基づき、京都府中・北部地域の6消防本部により消防指令センターを共同で整備するもの。			
事業の内容	■京都府中・北部地域消防指令センター 【整備内容】 ○設置場所：福知山市消防本部 ○運用開始予定：令和6年4月 【事業内容】 ○共同指令センター実施設計業務委託 ○庁舎改修実施設計業務委託 （福知山市消防本部庁舎） ○京都府中・北部地域消防指令事務協議会事務費 ※それぞれ6消防本部による按分率に基づき負担するもの 【参考】 今後の予定 令和3年度 実施設計 令和4～5年度 指令センター改築工事 指令システム導入			

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	5,700	消防債	104
	その他	-		
	一般財源	7		

担当課	消防本部警防課	課長名	野里常 徹	内線番号	9521
-----	---------	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 121

事業名	消防施設整備事業費					
費目	款	消防費	項	消防費	目	消防施設費
事業費	145,254 千円			予算書	214 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	救助工作車は、配備後約20年が経過し老朽化していることから、最新の装備と機能を有する車両に更新する。なお、当該車両は、令和4年4月に緊急消防援助隊京都府大隊へ登録する予定である。 また、老朽化した指令車の更新、消防団の小型動力ポンプ付積載車の更新及び小型動力ポンプ搬送車を整備し、災害対応能力の維持向上を図る。		
事業の内容	○消防ポンプ自動車等購入事業 ・救助工作車 1台 ・指令車 1台 ・小型動力ポンプ付積載車（非常備消防） 1台 ○小型動力ポンプ機動力化事業 ・小型動力ポンプ搬送車（非常備消防） 3台		

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	137,800	消防債、辺地債	104
	その他	-		
	一般財源	7,454		

担当課	消防本部警防課	課長名	野里常 徹	内線番号	9521
-----	---------	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 122

事業名	不登校支援等推進経費					
費目	款	教育費	項	教育総務費	目	事務局費
事業費	14,435 千円			予算書	218 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	心理的要因等により不登校となっている児童・生徒に対し、教育支援センター明日葉(あしたば)において、集団生活への適応、学力の補充及び基本的生活習慣の改善等のための相談、適応指導を行い、学校生活への復帰と社会的自立を支援する。また京都府認定フリースクール(聖母の小さな学校)へ引き続き支援を行うとともに、さらなる連携を図り、不登校対策に取り組む。					
	いじめ問題に積極的に対応するため、いじめ相談室での24時間体制のいじめ相談ダイヤルやメール相談に加え、新たにSNSを活用した相談窓口を設置するなど、きめ細かな相談・対応を行う。また、いじめ・不登校事案において専門的知見を必要とする困難事例に対処するため、教育支援センターにカウンセラー(臨床心理士)を配置し、問題解決に取り組む。					
事業の内容	1 教育支援センターの概要					
	(1)事業内容					
財源内訳	・不登校・いじめに係る相談					
	・学習指導、訪問指導					
	・カウンセラー(臨床心理士)によるカウンセリング					
	(2)場所 宇北吸(旧大学連携センター)					
	2 チャレンジアウトドアライフ事業の実施					
	・不登校児童生徒を対象とした野外体験活動の実施					
3 いじめ相談ダイヤル・メールによる相談受付						
4 SNSによる相談窓口の設置【新規】						
5 京都府認定フリースクール(聖母の小さな学校)連携推進事業の実施						
・校外活動、体験活動、カウンセリングなどを支援						
財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)		予算書	
	国 支 出 金	7,109	地方創生推進交付金(1/2)		66	
	府 支 出 金	-				
	地 方 債	-				
	そ の 他	-				
	一 般 財 源	7,326				
担当課		学校教育課	課長名	森下 敏宏	内線番号	2430

令和3年度 主な事務事業調

No. 123

事業名	英語指導助手設置経費					
費目	款	教育費	項	教育総務費	目	事務局費
事業費	19,272 千円			予算書	218 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	英語指導助手を配置し、外国人から直接、生きた英語を学ぶとともに、小中学校の各段階を通じた英語教育の充実と国際理解教育を推進する。 また、授業以外の場で、目的を持って外国人とコミュニケーションをとることで英語学習に対する意欲を高め、これまで以上に英語に触れる機会を創出する。			
事業の内容	○小学校3・4年生 ・英語授業の補助（発音指導など）や教材作成の補助を実施 ○小学校5・6年生 ・外国人との積極的な交流の中で、英語に触れる機会を増やし、コミュニケーション能力を養う英語シャワーデーを実施 ○中学生 ・放課後の時間に英語検定等の資格取得に特化した講座を実施 ※長期休業中にはイングリッシュキャンプ（国内ミニ留学）を実施するなど、授業で学んだ英語を活かして言葉が通じるという達成感を味わう取組を行う ※英語担当教員に対する研修や国際理解教育などを実施			

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	9,636	地方創生推進交付金（1/2）	66
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	9,636		

担当課	学校教育	課	課長名	森下 敏宏	内線番号	2430
-----	------	---	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 124

事業名	小中一貫教育推進事業費					
費目	款	教育費	項	教育総務費	目	事務局費
事業費	6,907 千円			予算書	218 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	中学校へ進学した児童が、新しい環境での学習や生活に不適応を起こす、いわゆる「中1ギャップ」の解消とともに学力の向上を目指し、義務教育9年間を見通した一貫性のある学習指導・生徒指導と、小・中学校の円滑な接続を行う「小中一貫教育」を推進する。 また、保育所・幼稚園から小学校への円滑な接続を図るため、保幼小の連携を推進する。				
	事業の内容 ○ コーディネーター役を担う指導主事の配置 ○ 小中一貫教育推進のための中学校区リーフレットの作成 ○ 中学校区が実施する教育実践・研究成果の発信 ○ 小学校間、小・中学校間の交流事業の実施 ○ 保育所・幼稚園・小学校の児童が生活科などの学習や行事を通じた交流 など				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	6,907			
担当課		学校教育課	課長名		森下 敏宏
			内線番号		2430

令和3年度 主な事務事業調

No. 125

事業名	競技力向上対策助成金					
費目	款	教育費	項	教育総務費	目	文化・スポーツ振興基金費
事業費	7,055 千円			予算書	220 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	中学校運動部の競技力向上を図るための、練習試合等の移動に必要となる交通費等の経費に対し、学校規模に応じた助成を行う。 また、府大会・近畿大会・全国大会に出場する生徒の参加経費等に対して助成を行う。 このほか、市民スポーツの指導者及び競技者の資質向上を目的とした長期研修会への参加経費等に対する助成を行う。			
事業の内容	○中学校運動部活動助成金 3, 8 0 7 千円 ・学校割（運動部数）7校 2, 2 0 0 千円 ・生徒数割（生徒数）2, 1 4 2 人 1, 6 0 7 千円			
	○中学校総合体育大会等参加助成金（京都府、近畿、全国大会） 3, 0 9 8 千円 ※生徒数の減少や移動費（バス代）の値上げにより、生徒一人あたりの負担が増えていることから、助成金の限度額を増額する。 ・学校割 = 1校につき50千円の増額 【拡大】 ・生徒数割= 1人につき650円→750円 【拡大】			
内容	○指導者養成研修補助金、長期研修参加補助金 150千円			

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称（ 補 助 率 等 ）	予算書
	国 支 出 金	-		
	府 支 出 金	-		
	地 方 債	-		
	そ の 他	7,055	文化・スポーツ振興基金繰入金	92
	一 般 財 源	-		

担当課	学校教育 スポーツ振興	課	課長名	森下 敏宏 神社 啓明	内線 2430 番号 1235
-----	----------------	---	-----	----------------	--------------------

令和3年度 主な事務事業調

No. 126

事業名	施設整備事業費（小学校・中学校）				
費目	款	教育費	項	小学校費・中学校費	目 学校管理費
事業費	90,896 千円			予算書	222・224 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	学校施設は次代を担う児童生徒の学習・生活の場であり、より良い教育活動を行うためには、施設の安全性・機能性の確保は不可欠であるため、老朽化対策及び安心・安全対策に関連した工事を計画的に実施することにより、教育環境の改善を図る。			
事業の内容	主な整備内容 ○小学校 体育館屋根改修工事（福井小学校） 校舎屋上防水改修工事（倉梯小学校） 高圧受変電設備改修工事（三笠小学校） 避難器具(救助袋)更新工事（倉梯小学校・中舞鶴小学校） ○中学校 高圧受変電設備改修工事（城南中学校） 他			

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	38,000	特定防衛施設周辺整備調整交付金（定額）	68
	府支出金	-		
	地方債	5,800	小学校債・中学校債	104
	その他	-		
	一般財源	47,096		

担当課	教育総務	課	課長名	植和田 浩行	内線番号	2410
-----	------	---	-----	--------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 127

事業名	学習系ネットワーク管理経費（小学校・中学校）					
費目	款	教育費	項	小学校費 中学校費	目	学校管理費
事業費	90,093 千円			予算書	222・224 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	「GIGAスクール構想」は、子どもたちの学習の基盤となる資質・能力を一層確実に育成することを目指す大改革である。 本市においても、整備した1人1台端末や高速大容量の通信ネットワークを活用した質の高い授業を実践し、教育振興大綱に掲げる「自らの将来を切り拓き、力強く生き抜く子ども」の育成を図る。
事業の内容	1. 質の高い授業の実施 教員がICTを効果的に活用した質の高い授業が実践できるよう、授業支援や指導等を行う支援員や指導員を配置し、教員の授業力の育成・向上を図る。 ○ICT支援員の配置 小中学校各校へ支援員がICTを活用した授業時における機器の操作や学習教材の作成等を支援 ○ICT活用指導力育成指導員の配置 教員のICTを活用した授業の質向上のため、アドバイザー等による指導や助言、研修等を実施 2. GIGAスクールネットワーク保守管理業務 高速大容量通信ネットワーク回線・クラウド設置サーバ利用料、故障・障害等問合せ受付窓口等のネットワーク保守運用管理

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	4,000	地方創生推進交付金(1/2)	68
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	86,093		

担当課	学校教育	課	課長名	森下 敏宏	内線番号	2430
-----	------	---	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 128

事業名	特色ある教育活動支援事業費補助金（小学校・中学校）					
費目	款	教育費	項	小学校費 中学校費	目	教育振興費
事業費	7,534 千円			予算書	222・224 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	地域人材等の活用により、地域に根ざした特色ある学校づくりや教育活動を推進するための支援を行うとともに、地域社会等の支援や協力のもと、豊かな体験活動を実施し、「生きる力」の核となる「豊かな人間性」を育てる「心の教育」の充実を図る。 小学校6年生の社会科学習の一環として、引揚記念館を見学し、語り部の方から戦争の悲惨さや平和の尊さ、当時の舞鶴市民のもてなしの心について直接話を聞くことにより、引き揚げの歴史を学ぶほか、ふるさと学習の実施により「ふるさと舞鶴」を愛する子どもの育成を図る。
事業の内容	○教育活動支援事業 総合的な学習の時間、選択教科、体験活動、野外活動、クラブ活動・部活動等において、地域人材等を活用した特色ある教育活動を支援するため、講師への謝礼等に対して助成措置を講ずる。 小学校6年生の社会科において、引揚記念館等を見学する「ふるさと学習」を実施する。 ○地域ふれあい体験活動事業 各小・中学校において、地域や学校の実態に応じて創意工夫し、職場体験（小学校では仕事についての体験活動等）、世代間交流、福祉職場体験、農業体験、伝統的文化活動など通年の教育活動として、児童・生徒の体験活動を実施する。

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	672	「KYO発見 仕事・文化体験活動」推進事業補助金（2/3）	82
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	6,862		
担当課	学校教育	課	課長名 森下 敏宏	内線番号 2430

令和3年度 主な事務事業調

No. 129

事業名	夢チャレンジサポート事業費					
費目	款	教育費	項	中学校費	目	教育振興費
事業費	8,696 千円			予算書	224 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	子どもたちの夢を育み、その夢の実現を支え、将来、社会に貢献できる人材を育成するために、夢講演会の開催や学力向上に向けた支援を行う。				
事業の内容	1 学力チャレンジ 生徒の学力状況を把握し、学習改善につなげるとともに、生徒が自分の学力を把握し、進路実現に活かすため、中学校で各学年統一の学力診断テストを実施する。 2 検定チャレンジ 英語検定にチャレンジする意欲ある生徒に検定料を支援する。 3 夢講演会 生徒の将来の夢を考えるきっかけとするために、外部講師による講演会を実施する。 4 夢サポート事業 各校における学力向上、教職員の資質の向上等の取組や、地域の特色を活かした教育活動を支援する。 5 オリンピック・パラリンピック教育推進事業（府委託事業） オリンピック・パラリンピックを通じた学びにより「スポーツの力」を実感させるとともに、一人一人に豊かな「スポーツごころ」を育み、オリンピック・パラリンピック以降のスポーツ文化の広がりにつなげる。				

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	4,300	きょうと地域連携交付金(1/2)、 オリンピック・パラリンピック教育推進事業委託金	82・84
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	4,396		

担当課	学校教育課	課長名	森下 敏宏	内線番号	2430
-----	-------	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 130

事業名	歴史文化基本構想活用事業費				
費目	款	教育費	項	社会教育費	目 社会教育総務費
事業費	2,046 千円			予算書	230 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	令和2年度に作成した舞鶴市における文化財保存活用のアクションプラン「舞鶴市文化財保存活用地域計画」について文化庁に認定申請を行うことで、計画の周知を図るとともに、子どもたちを中心とした次世代に向けてふるさとに対する誇りと愛着を醸成し、歴史文化の魅力を活かしたまちづくりを推進する。			
事業の内容	○府下で最初となる舞鶴市文化財保存活用地域計画の文化庁認定を目指す。 ・計画の冊子と概要版の作成 ・記念シンポジウムの開催			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	1,636	文化芸術振興費補助金(8/10)	68
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	410		
担当課 文化振興 課		課長名 左織 美紀恵		内線番号 1230

令和3年度 主な事務事業調

No. 131

事業名	生涯学習推進事業費				
費目	款	教育費	項	社会教育費	目 社会教育総務費 公民館費
事業費	4,049 千円			予算書	230・232 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	誰もが学習できる環境づくりと、生活に根差した各種セミナーや体験教室等の充実、身近な地域資源や課題等について学ぶ「地元学」等により、地域の活性化や高齢者の社会参加、青少年の健全育成、世代間交流の促進を図る。また、様々な経験や知識をお持ちの市民を「まちの先生」に認定し、地域や学校などで幅広く活躍していただけるよう支援する。			
事業の内容	生涯学習支援事業 ①「まちの先生」制度の周知・活動支援 ②公民館生涯学習活動支援事業 ・身近な地域資源や課題を学ぶ「地元学」事業 ・本市の魅力を学ぶ「とっておきの舞鶴体感」事業 ・高齢者学級いきいきセミナー事業 ・家庭教育学級事業 ・公民館講座開設事業 ※実施場所は公民館等 ③障害者教室成人講座事業			

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	1,200	雑入(講座等参加料)	102
	一般財源	2,849		

担当課	地域づくり支援課	課長名	飯田 徹	内線番号	1225
-----	----------	-----	------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 132

事業名	赤れんがハーフマラソン開催経費				
費目	款	教育費	項	保健体育費	目 保健体育総務費
事業費	6,800 千円			予算書	234 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	スポーツイベントを通じた交流人口の拡大と地域活性化を図るため、第9回目（第8回大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）となる「舞鶴赤れんがハーフマラソン2021」を開催する。			
事業の内容	大会概要（予定） 【日時】 令和3年10月10日（日） 【会場】 赤れんがパーク周辺（スタート・ゴール）			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	600	きょうと地域連携交付金(1/2)	82
	地方債	-		
	その他	5,440	雑入(独立行政法人日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金)	102
	一般財源	760		
担当課	スポーツ振興 課		課長名	神社 啓明
			内線番号	1235

令和3年度 主な事務事業調

No. 133

事業名	窓口等業務委託経費 (上下水道 お客様サービスセンターの設置)					
費目	款	水道事業費用	項	営業費用	目	業務費
事業費	67,782 千円			予算書	4 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	令和2年度から委託している料金徴収等の窓口業務について、令和3年度から全ての業務を専門業者へ委託し、更なる事務の効率化及び質の高いサービスの提供を図ることで、将来にわたって安心して安全な水道水の安定供給と効率的な事業運営を推進する。 また、市民に分かりやすいお客様窓口となるよう、名称を『上下水道 お客様サービスセンター』と名付けて周知図る。
事業の内容	○委託期間：令和2年度～5年度 ○事業費：67,782千円 (債務負担行為設定額：270,000千円) ○委託業務 令和3年度以降：窓口業務、滞納整理業務、検針業務、開閉栓業務、収納業務、調定業務 (令和2年度は窓口業務、滞納整理業務のみを委託)

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	67,782		

担当課	お客様サービス課	課長名	宮嶋 龍二	内線番号	2210
-----	----------	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 134

事業名	配水池改修事業費					
費目	款	資本的支出	項	建設改良費	目	配水施設費
事業費	77,000 千円			予算書	6 頁	
				事業区分	(新規)・拡大・継続	

事業の目的	高区配水池(基幹配水池)の健全度の向上と延命化を図るため、新水道ビジョンに基づき補修を行い、安全で安心な水道水の安定供給に努める。				
事業の内容	高区配水池 所在地：舞鶴市字城屋 構造：PC造 容量：3,000 m³ 経過年数：46年 - 外面補修 A = 750 m² - 屋根補修 A = 680 m²				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	77,000			
担当課 水道整備 課			課長名 新谷 哲也	内線番号 2270	

事業名	配水管整備事業費					
費目	款	資本的支出	項	建設改良費	目	配水施設費
事業費	781,462 千円			予算書	6	頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	1. 新水道ビジョンに基づき、将来の水需要予測を踏まえた適正口径へ見直し、耐震性のある水道管への取り替えを行い、安全で安心な水道水の安定供給に努める。 2. 国道27号西舞鶴道路建設に伴い、支障となる大口径管路を移設する。				
	1. 工事延長：約4,200m 施工箇所：大波下、北吸、上安、浜、愛宕 他 口径：φ50～φ400 事業費：680,834千円 2. 工事延長：約300m 施工箇所：国道27号 上安 地内 管種：水道用塗覆装鋼管 (STPW) 口径：φ800 事業実施期間：令和3年度～令和4年度 事業費：100,628千円				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	41,820	水道管路緊急改善事業補助金(1/3)		5
	府支出金	-			
	地方債	350,000	水道事業債		5
	その他	13,530	負担金		5
	一般財源	376,112			
担当課		水道整備課	課長名	新谷 哲也	内線番号 2270

令和3年度 主な事務事業調

No. 136

事業名	管渠整備事業費					
費目	款	資本的支出	項	建設改良費	目	管渠整備費
事業費	162,822千円のうち			予算書	26 頁	
	126,200 千円			事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的

令和2年度に下水道整備事業が概成し、今後は下水道管路等の老朽化に伴う事故発生や、機能停止を未然に防ぐため、ストックマネジメント計画などに基づく点検・調査・修繕・改築を行い、持続的な下水道機能の確保とライフサイクルコストの低減を図る。

事業の内容

○公共下水道管路施設の改築（委託・工事）
事業費＝30,000千円
・富士通線 幹線管路 設計業務・更生工事

○公共下水道管路施設の更新（工事）
事業費＝96,200千円
・汚水中継ポンプ場(汚水ポンプ、制御盤)
・汚水中継ポンプ場(監視・通報装置)
・マンホール蓋 など

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称（ 補 助 率 等 ）	予算書
	国 支 出 金	15,000	社会資本整備総合交付金 (1/2)	25
	府 支 出 金	-		
	地 方 債	111,200	下水道事業債	25
	そ の 他	-		
	一 般 財 源	-		

担当課

下水道整備 課

課長名

大草 修

内線番号

2220

令和3年度 主な事務事業調

No. 137

事業名	処理場整備事業費					
費目	款	資本的支出	項	建設改良費	目	処理場整備費
事業費	806,960千円のうち			予算書	26 頁	
	667,610 千円			事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	各処理場施設の老朽化などによる機能停止を未然に防止するため、ストックマネジメント計画などに基づき計画的な点検・調査・修繕・改築を行い、持続的な下水道機能の確保とライフサイクルコストの低減を図る。
事業の内容	○公共下水道の処理場(浄化センター)施設改築 【東浄化センター】 ・汚泥処理設備改築 ([債務負担行為] 令和2年～令和4年) 事業費=165,610千円 ・電気設備改築 ([債務負担行為] 令和2年～令和4年) 〈監視制御〉 事業費=242,000千円 【西浄化センター】 ・1系水処理設備改築 ([債務負担行為] 令和3年～令和5年) 事業費=260,000千円

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	339,685	社会資本整備総合交付金(5.5/10)	25
	府支出金	-		
	地方債	327,925	下水道事業債	25
	その他	-		
	一般財源	-		

担当課	下水道整備課	課長名	大草 修	内線番号	2220
-----	--------	-----	------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 138

事業名	雨水処理事業費					
費目	款	資本的支出	項	建設改良費	目	雨水処理費 固定資産購入費
事業費	1,049,102千円のうち			予算書	26	頁
	1,015,000 千円			事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	市街地の浸水対策事業として、西市街地においては京都府の高野川整備計画と連携し事業を促進し、新たに東市街地において事業化を目指した計画策定を行い、安全・安心なまちづくりを行う。			
事業の内容	◆西地区浸水対策事業 1,005,000千円 ○ポンプ場整備事業 ・大手ポンプ場整備（機械・電気） （[債務負担行為] 令和2年～令和4年） ・大手ポンプ場整備（建築） ・静溪ポンプ場整備（土木・機械・電気） （[債務負担行為] 令和3年～令和5年） ・竹屋ポンプ場整備（機械） ・松陰ポンプ場整備（土木） ・設計業務等			
	◆東地区浸水対策事業 10,000千円 ・令和2年度に策定した雨水管理総合計画を踏まえ、浸水被害が多い区域の都市計画決定及び基本設計業務を実施			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	505,000	下水道防災事業費補助金（1/2） 社会資本整備総合交付金（1/2）	25
	府支出金	-		
	地方債	509,500	下水道事業債	25
	その他	500	他会計補助金	25
	一般財源	-		
担当課		下水道整備課	課長名	大草 修 東山 直 (浸水対策担当)
			内線番号	2220 2231

令和3年度 主な事務事業調

No. 139

事業名	病院事業（収益的収支・資本的収支）				
費目	款		項		目
事業費	1,059,680 千円			予算書	41～45 頁
				事業区分	新規・拡大 継続

事業の目的 未だ収束が見通せないコロナ禍における厳しい経営環境の下、病院事業については、感染症をはじめとするリスクマネジメントを一層強化しながら、求められる機能・役割をしっかりと担うことにより、引き続き、地域医療に貢献していく。

その中で、医療療養型病院としての病院運営が一定軌道に乗ってきた本院については、今後も急性期医療を担う市内公的3病院等と緊密に連携しながら、積極的に患者を受け入れることにより、地域における慢性期の医療ニーズに対応していくとともに、地域包括ケアというトータルな視点から、在宅医療を必要とする方が可能な限り住み慣れた地域で生活できるよう支援していく。

また、加佐診療所については、地域唯一の医療機関として、地域の実情や本市全体の医療環境を踏まえ、必要な医療の提供に努める中で、地域包括ケアの推進に向け取り組んでいく。

事業の内容	[事業費内訳] ・病院事業 975,436千円 ・診療所 84,244千円 [病院事業概要] ・療養病床 100床 ・入院患者 93.5人/日平均(見込み) ・入院収益 650,128千円 ・職員体制 90人 [診療所事業概要] ・診療科 内科・整形外科・その他(健診、予防接種等) ・外来患者 15.5人/日平均(見込み) ・医業収益 36,212千円(健診、予防接種等含む) ・職員体制 7人			
-------	--	--	--	--

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	340		43・45
	地方債	14,400	病院事業債	45
	その他	225,900	市補助金(病院分 182,328千円)	43・45
	一般財源	773,740		

担当課	市民病院総務課	課長名	阿部 葉子	外線番号	60-9020
-----	---------	-----	-------	------	---------

令和3年度 主な事務事業調

No. 140

事業名	国民健康保険事業				
費目	款		項		目
事業費	7,714,600 千円		予算書		61~130 頁
			事業区分		新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	国民健康保険は「年齢構成が高く医療費水準が高い、所得水準が低く保険料負担が重い」など構造的な課題があるなか、今後も医療技術の進歩等による医療費の増加傾向が続くと見込まれ、財政運営は厳しい見通しである。 このような中、平成30年度からは、府が財政運営の責任主体となり、市と共同で事業運営を行っており、今後も共同で制度の安定化を推進する。			
事業の内容	【主な歳入】 ○保険料 1,286,275千円 (1)医療分+支援分の1人当たり保険料 73,900円(前年度比2.8%減) (2)介護分の1人当たり保険料 27,820円(前年度比7.7%増) ○府支出金 5,747,411千円 保険給付費等 ○一般会計繰入金 663,693千円 低所得者の割合等に応じた財政支援の保険者支援分など ○国民健康保険事業基金繰入金 8,394千円 【主な歳出】 ○保険給付費 5,708,371千円 ○国民健康保険事業費納付金 1,737,261千円 府内の保険給付費に充てるため、府が所得水準及び医療費水準に応じて各市町村ごとに算定 ○保健事業費 115,038千円			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	1	災害臨時特例補助金	-
	府支出金	5,747,411	保険給付費等交付金	-
	地方債	-		
	その他	675,591	一般会計繰入金 他	-
	一般財源	1,291,597		
担当課	保険医療	課	課長名	樋口 誠
			内線番号	2160

令和3年度 主な事務事業調

No. 141

事業名	特定健康診査事業費、特定保健指導事業費				
費目	款	保健事業費	項	特定健康診査等事業費	目 特定健康診査等事業費
事業費	76,331 千円			予算書	115 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業目的	内臓脂肪の蓄積に起因する生活習慣病の発症・重症化を予防するため特定健診を実施し、健診結果に応じて生活習慣病発症リスクの高い人に保健指導を実施している。 各種施策により健診受診率や指導実施率の拡大を図ることで疾病予防、重症化予防等、医療費の適正化に取り組む。
事業内容	1. 特定健康診査【事業費67,692千円】 ○対象 40歳～74歳の国民健康保険加入者 ○内容 問診、診察、身体計測、検尿、血圧、心電図、血液検査を実施 2. 特定保健指導【事業費2,726千円】 ○対象 特定健康診査の結果、腹囲又はBMIが一定の基準値を超え、血圧・脂質・血糖・喫煙習慣のリスクのある者 リスクの程度により、動機づけ支援レベルと積極的支援レベルに階層化（よりリスクの高い方が積極的支援） 重症化リスクの者には更に別途受診勧奨等実施 ○内容 3か月にわたり、保健師や管理栄養士が来所や訪問による個別面接・電話等により、対象者自身が立てた行動目標を目指し、生活習慣の改善に向け支援する。 3. 特定健康診査等一般事務経費【経費5,913千円】

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	28,047	特定健康診査等負担金 特別調整交付金 他	75
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	48,284		
担当課		保険医療 健康づくり	課	課長名
				樋口 誠 岸本 昭彦
				内線 2160 番号 6200

令和3年度 主な事務事業調

No. 142

事業名	介護保険事業				
費目	款		項		目
事業費	8,905,200 千円		予算書	167~262 頁	
			事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	介護を要する状態となっても、できる限り、自宅で自立した日常生活を営めるように、真に必要な介護サービスを総合的・一体的に提供するための介護保険制度を運営する。			
事業の内容	＜保険事業勘定＞ 介護サービス等にかかる費用について「保険給付事業」を行うとともに、「地域支援事業」として、要支援者等の通所・訪問サービス等に係る「介護予防・生活支援サービス事業」を実施するほか、「一般介護予防事業」や「包括的支援事業」、「任意事業」を実施。 居宅・施設サービスの利用等にかかる費用については、所得に応じ9割～7割分を保険給付し、ケアプラン作成にかかる費用については、全額保険給付となる。 その他、国保連への審査支払手数料や高額介護サービス等にかかる費用等を計上。 ＜サービス事業勘定＞ 「介護サービス事業」として、市内に7ヶ所ある「地域包括支援センター」のうち、市が直営により運営する指定介護予防支援事業所1ヶ所において、介護予防支援を実施する。			
財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国 支 出 金	2,208,392	介護給付費負担金、地域支援事業交付金 他	—
	府 支 出 金	1,269,460	介護給付費負担金、地域支援事業交付金 他	—
	地 方 債	—		
	そ の 他	3,868,642	支払基金交付金、繰入金、諸収入 他	—
	一 般 財 源	1,558,706		
担当課 高齢者支援 課		課長名 小酒 由美子	内線番号 2140	

令和3年度 主な事務事業調

No. 143

事業名	地域支援事業費				
費目	款	地域支援事業費	項		目
事業費	502,178 千円		予算書		220~231 頁
			事業区分		新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	地域支援事業では、被保険者が要介護・要支援状態となることを予防するとともに、要介護状態となった場合でも、可能な限り、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援するためのサービスを提供することを目的として実施するもの。			
事業の内容	1. 介護予防・生活支援サービス事業 要支援者等を対象に、訪問型・通所型サービスのほか軽易な家事援助や配食サービス等の生活支援等を実施。 2. 一般介護予防事業 地域の公民館や集会所など身近な場所での住民主体の運動や交流を促進し、住民同士のつながりを強化する介護予防を通じた地域づくりの推進。 3. 包括的支援事業 地域包括支援センター（市内7か所）の相談体制充実やリハビリ職など多職種協働による地域ケア会議の実施、認知症施策や生活支援体制の整備、在宅医療・介護の連携推進事業などにより、「地域包括ケアシステム」の深化・推進に取り組む。 4. 任意事業 住み慣れた地域での暮らしを継続できるよう、高齢者の見守り体制の整備や家族介護支援のほか、介護給付費の適正化に取り組む。（配食サービス、緊急通報システムなど） 5. 地域包括支援センター運営費			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	173,819	地域支援事業交付金(20/100, 38.5/100)等	179
	府支出金	71,918	地域支援事業交付金(12.5/100, 19.25/100)等	185
	地方債	-		
	その他	174,001	地域支援事業市負担分(12.5/100, 19.25/100)等	-
	一般財源	82,440		
担当課	高齢者支援課	課長名	小酒 由美子	内線番号 2140

令和3年度 主な事務事業調

No. 144

事業名	後期高齢者医療事業				
費目	款		項		目
事業費	1,382,350 千円			予算書	263～298 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	75歳以上の高齢者等を対象とした後期高齢者医療制度に係る経費で、医療費の給付や保険料賦課決定などの基幹事務は京都府後期高齢者医療広域連合で行い、市町村では窓口業務と保険料徴収を行う。 令和元年度から実施されている、保険料軽減特例措置の見直しにより、令和2年度に7.75割軽減に該当している低所得の方は、令和3年度から本則どおり7割軽減となる。			
	30年度	元年度	2年度	3年度
	9割軽減	8割軽減	7割軽減	7割軽減
	8.5割軽減	8.5割軽減	7.75割軽減	7割軽減
事業の内容	○後期高齢者医療広域連合納付金 1,344,930千円 ・保険料等分 1,028,091千円 ・保険基盤安定分 292,696千円 ・事務費分 24,143千円 ○一般管理経費等 30,603千円 ○徴収費 4,757千円			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	354,258	繰入金 ほか	-
	一般財源	1,028,092		
担当課		保険医療 課	課長名	樋口 誠
			内線番号	2160

